

発行年月日	2025年10月31日
発行 No.	CPSMN-00150

ViewLED Solution 用 ゲートウェイ施工説明書

目次

はじめに.....	3
安全上のご注意.....	4
1. 本製品について.....	9
1.1 クラウド AI 画像解析サービス「ViewLED Solution」とは.....	9
1.2 ViewLED Solution の製品構成.....	9
1.3 ViewLED Solution の各種取扱説明書.....	9
1.4 ViewLED Solution の施工・設定の流れ.....	10
1.5 ViewLED Solution 利用時の事前準備.....	10
2. PC の準備.....	12
2.1 PC 設定時のご注意.....	12
2.2 PC の設定方法.....	12
2.3 PC のプロキシ設定方法.....	15
3. 専用ゲートウェイの仮配置.....	17
3.1 専用ゲートウェイの各部名称.....	17
3.2 専用ゲートウェイの各配線の接続.....	18
4. 専用ゲートウェイの設定.....	20
4.1 専用ゲートウェイの管理画面を開く手順.....	20
4.2 専用ゲートウェイの初期設定.....	22
4.3 専用ゲートウェイの管理画面の詳細説明.....	27
4.4 専用ゲートウェイの管理画面で困ったとき.....	30
4.5 専用ゲートウェイの疎通確認.....	33
5. 専用ゲートウェイの本設置・関連機器の接続.....	34
5.1 専用ゲートウェイの本設置.....	34
5.2 専用ゲートウェイと関連機器の接続.....	35
5.3 専用ゲートウェイのインジケータの点灯パターン.....	36
6. クラウドへの接続確認.....	37
7. サポート・お問い合わせ.....	39
8. 商標について.....	40

はじめに

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの施工説明書（以下、本書）をよくお読みになり十分に理解してください。
- 本書では、装置の基本操作、周辺機器との接続方法、トラブルで正しく動かなくなったときの対処の仕方について説明しています。
- お読みにになったあとは、必要なときはすぐに取り出せるように大切に保管してください。
- この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。

■ 対象製品について

- 本書は、以下の製品に対応したものです。
KUBER2110-4G64GAC（以下、本製品）

■ 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ 用途制限について

本製品は、一般用を意図しています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用はおやめください。

高信頼性を必要とする用途例には、化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、交通管制装置などでの使用が該当します。

このような使用に対する万一の事故に対し、当社は一切の責任を負いません。

■ 著作権について

映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者および著作権者の権利が保護されています。権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。著作権法を遵守のうえ、適切なご使用をこころがけていただきますよう、お願いいたします。

■ 免責事項について

本製品の保証期間にかかわらず、次の場合には当社は一切責任をおいしません。



- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）。
- 映像および録画に関する損傷、損失、不具合データの損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費など）。
- 当社が関与しない接続機器（PC やネットワーク HUB など）や、PC とソフトウェアの組み合わせによる不良から生じた損害。
- 盗撮などの損害、撮影した映像に係る訴訟や損害および、個人情報保護に関する条例に対する損害。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明



表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。




*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の説明

図記号	表示の意味
 禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 全般について



分解・改造・修理・ソフトウェアの書き換えをしない 火災・感電・けがの原因となります。	 禁止
本製品は日本国内専用のため、国内でご使用ください 国外で使用すると火災や感電の原因となります。	 指示
AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルは、付属品をご使用ください それ以外のものを使用すると、火災の原因になります。	 指示

■ 設置・施工について



警告

<p>一般屋内専用のため、次の場所では使用、保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨・風の当たる場所 ・振動や衝撃のある場所 ・粉塵・腐食性ガス（塩素ガス・硫黄成分等）が発生する場所 ・オイルミストが発生する場所 ・虫が飛来する場所 	 禁止
<p>自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品を使用しない 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。</p>	 禁止
<p>周囲温度が 5℃～35℃以内で使用してください 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>密閉する空間には設置しないでください 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>高湿度環境下（85%以上）では使用できません 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>器具の取り付けの際は手袋を着用してください けがの原因となります。</p>	 指示



注意

<p>傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>	 禁止
<p>ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください 足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。</p>	 指示
<p>ケーブルの上に重量物を載せない。また、熱器具のそばに配線しない ケーブル被覆が破れ、発火、接続機器などの故障の原因になります。</p>	 禁止

■ 使用について



警告

ぬれた手で本製品を操作しない 火災、感電、故障の原因となります。	 禁止
移動するときは、AC アダプタをコンセントに接続した状態で移動しない ケーブルが傷つき、火災、感電の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタを布や断熱材で覆ったり、被せたりしない 内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタを紙などの可燃物に近づけない 可燃物に燃え移り、火災の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタのすきまなどに針金などを差し込まない けが、感電・火災の原因となります。	 禁止



注意

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしない 発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。	 禁止
製品を廃棄するときは、次の内容を守ってください 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。産業廃棄物管理票は、(社)全国産業廃棄物協会に用意されています。	 指示

■ AC アダプタ／AC アダプタ用ケーブルについて



警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない タコ足配線などで定格を超えると、火災、感電の原因になります。また、電力使用量オーバーでブレーカが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。	 禁止
ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししない 感電の原因となります。	 禁止
AC アダプタ用ケーブルは、接地極付の单相 100V コンセントを使用し、奥まで確実に差し込んでください 確実に差し込んでいない場合や別の種類のコンセントを使用した場合、故障・感電・火災の原因となります。	 指示
AC アダプタ用ケーブルを取り扱うときは、次の内容を守ってください ・引っ張らない・傷つけない・ねじらない・物を載せない ・押し付けない・加熱しない・束ねない・無理に折り曲げない ・加工しない・熱器具のそばで使わない 守らないと、火災・感電の原因になります。	 指示
AC アダプタのコネクタ付近や AC アダプタ用ケーブルのプラグ付近にほこりがついているときは、AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりを取ってください ほこりがたまると、火災の原因になります。	 指示
近くに雷が発生したときは、AC アダプタや接続ケーブルなどを抜いてください 雷によっては火災、感電、故障の原因となります。	 指示



注意

AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜くときは、ケーブルをしっかり持って抜いてください AC アダプタを引っ張って抜くと、ケーブルが傷つき火災、感電の原因となります。	 指示
--	--------

■ お手入れについて



警告

製品を水洗いしない 感電、故障の原因となります。	 禁止
金属部分をクレンザーやたわしで磨かない 傷、腐食の原因となります。お手入れの際は、乾いたやわらかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布を良くしぼってから拭いてください。	 禁止
傷や腐食・破損の原因となるため、次の方法で製品のお手入れをしない ・アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤でふかない ・洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけたりしない ・化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーを使用しない ・強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトン、同様の化学薬品は絶対に使用しない	 禁止
定期的に製品の清掃をしてください ほこり等による火災の原因となります。	 指示
お手入れの際は、AC アダプタをコンセントから抜いてください 感電・けがの原因となります。	 指示
定期的に電源をオフにした後、改めてオンにしてください 定期的な清掃時にご対応ください。	 指示

■ 異常時の対応について



警告

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発熱、発煙したときは、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いてください そのまま使用すると、火災、故障の原因となります。	 指示
本製品を落として破損した場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。	 指示

1. 本製品について

1.1 クラウド AI 画像解析サービス「ViewLED Solution」とは

クラウド AI 画像解析サービス「ViewLED Solution」（以下、ViewLED Solution）は、カメラ付き LED 照明 ViewLED（以下、ViewLED）で撮影した画像をクラウド上の AI で解析し現場の課題を解決するソリューションサービスです。ViewLED Solution を利用する前に下記をご確認ください。

- ViewLED Solution の利用契約が必要です。
- 本製品の他に、事前に ViewLED を施工する必要があります。
- 本製品をご使用になる前には、IP アドレスの割付などの初期設定が必要です。
- インターネットに常時接続できる環境が必要です。

1.2 ViewLED Solution の製品構成

ViewLED と専用ゲートウェイをインターネットに接続し、クラウドと連携してサービスを提供します。ViewLED と専用ゲートウェイをインターネットに接続するための機器や LAN ケーブルなどはお客様にてご準備、設置をお願いします。以下に製品構成の概要図を示します。

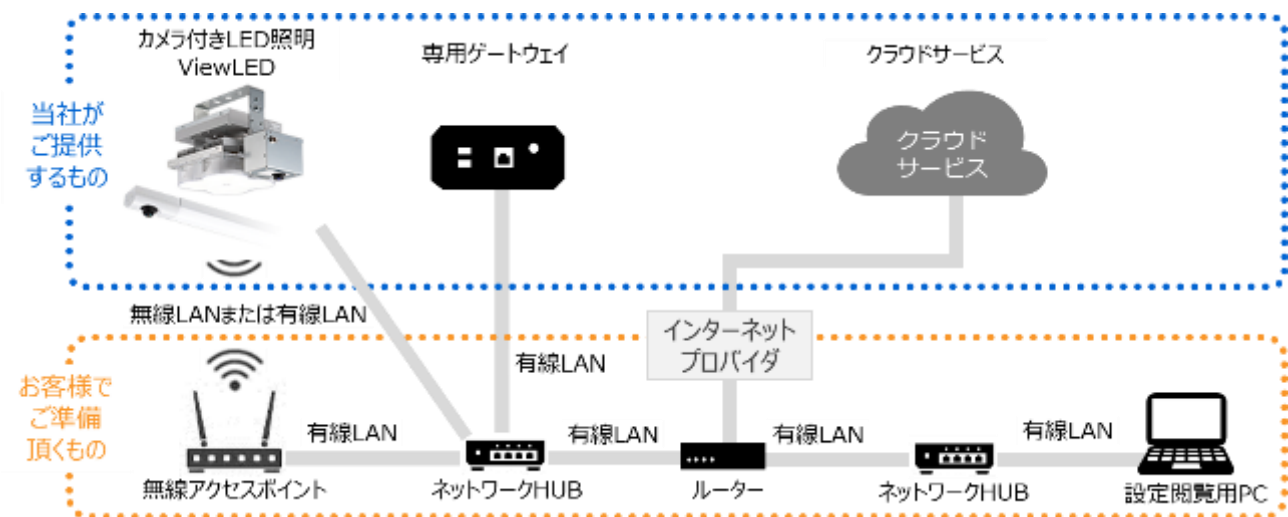


図 1 ViewLED Solution の製品構成図（一例）

1.3 ViewLED Solution の各種取扱説明書

ViewLED Solution を構成する機器の内、ご購入いただく機器の取扱説明書について説明します。

（1） ViewLED のクイックガイド

ご購入いただいた製品に同梱されています。クイックガイドには ViewLED をご利用いただく際に必要な作業フローを説明していますので、クイックガイドに沿って、各種取扱説明書などと合わせてご確認ください。のうえ、施工およびカメラ設定を行ってください。

（2） ViewLED Solution 用ゲートウェイ施工説明書（本書）

専用ゲートウェイ（ゲートウェイ本体、AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブル）の施工・設定方法を説明しています。

1.4 ViewLED Solution の施工・設定の流れ

ViewLED Solution の関連機器の施工・設定について、全体的な手順を以下で説明します。

1. ViewLED のカメラ設定
2. ViewLED の施工
3. 専用ゲートウェイの設定の準備（設定用 PC などの各種機器、IP アドレスなど各種情報の用意）
4. 専用ゲートウェイの仮設置（各配線の接続）
5. 専用ゲートウェイの設定
6. 専用ゲートウェイの本設置および関連機器の接続
7. クラウドへの接続

1 に関する説明は、カメラ設定ツール操作説明書をご確認ください。カメラの設定ツール操作説明書は、クイックガイドに入手方法を記載していますので、クイックガイドをご参照ください。

2 に関する説明は、ViewLED に同梱している器具取説をご確認ください。

3～6 に関する説明は、第 2 章以降で説明します。

1.5 ViewLED Solution 利用時の事前準備

ViewLED Solution の利用開始時に必要な機器は以下になります。事前にご準備ください。

表 1 ViewLED Solution 利用時に必要な機器一覧

必要な機器		分類	機器の説明	チェック 欄
ViewLED		ご購入 いただくもの	ViewLED Solution が利用可能な照明	
専用 ゲートウェイ	ゲートウェイ本体		器具とインターネットを接続する機器	
	AC アダプタ (付属品)		ゲートウェイ本体に電源を供給するための AC アダプタ	
	AC アダプタ用 ケーブル(付属品)		AC アダプタに接続する電源ケーブル	
	ゴム足		ゲートウェイ本体の底面に取付ける滑り止め部 材	
ネットワーク HUB		ご準備 いただくもの	有線 LAN ケーブルを中継する機器	
ルーター			インターネットプロバイダに接続する機器	
有線 LAN ケーブル			各機器を接続する有線 LAN ケーブル (CAT5e 規格以上、長さ 50m 以内を推奨)	
インターネット			光回線など常時接続型のインターネット回線	
無線アクセスポイント			無線タイプの ViewLED と通信する機器	
PC			設定時やクラウド接続確認に使用する PC	

ViewLED Solution の専用ゲートウェイ設定時に必要な情報は以下です。事前にご準備ください。入力内容が不明な場合はお客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

表2 専用ゲートウェイ設定時／クラウド接続確認時に必要な情報一覧

必要な情報	備考	記入欄
ユーザー名	専用ゲートウェイの管理画面のログイン時に必要な情報 ・ 初回のログイン時に作成します。文字数、文字種類には制限があります。詳細は 4.1 項をご参照ください。 ・ 忘れると管理画面にログインできなくなります。絶対に忘れないように、右列の記入欄に記入してください。	
パスワード		
ホスト名	専用ゲートウェイの基本設定に必要な情報	
ドメイン名		
デフォルトゲートウェイ		
DNS サーバー 1		
DNS サーバー 2		
IP アドレス	専用ゲートウェイの IP アドレスの設定に必要な情報	
サブネットマスク		
プロキシプロトコル	専用ゲートウェイのプロキシサーバーの設定に必要な情報	
プロキシサーバー		
プロキシ用ポート		
プロキシ用ユーザーID		
プロキシ用パスワード		
非プロキシ経由アクセスホスト		
エンドポイント	専用ゲートウェイの Ciao Camera 設定に必要な情報（別途ご提供する情報）	
アプリコード		
Ciao Camera 用パスワード		
NTP サーバー	専用ゲートウェイの NTP サーバーの設定に必要な情報	
クラウド接続用ユーザーID	クラウドへの接続確認時に必要な情報（別途ご提供する情報）	
クラウド接続用パスワード		

2. PC の準備

2.1 PC 設定時のご注意

PC を選定する際には、下記の点にご注意ください。

- PC は、イーサネット接続が可能な有線 LAN ポートのある PC をご用意ください。
- アンチウイルスソフトウェアや Windows のセキュリティパッチが適切に適用されているものをご用意ください。
- 各種設定を行う際には、Web ブラウザを使用します。事前に Google 社製「Google Chrome（クローム）」や Microsoft 社製「Microsoft Edge」を PC にインストールしてください。

2.2 PC の設定方法

PC のネットワーク設定を行い、専用ゲートウェイにアクセス可能な状態にします。下記の手順で実施してください。（以下は Windows11 の場合です。Windows のバージョンによっては、画面イメージが異なります。）

- （1） Windows の「設定」を開き、「ネットワークとインターネット」を選択して、「イーサネット」をクリックしてください。



図2 ネットワークとインターネット

- (2) 「IP 割り当て」の「編集」をクリックし、表示された画面で「手動」を選択し、さらに表示された画面で「IPv4」を「オン」にしてください。



図3 イーサネット > IP 割り当て

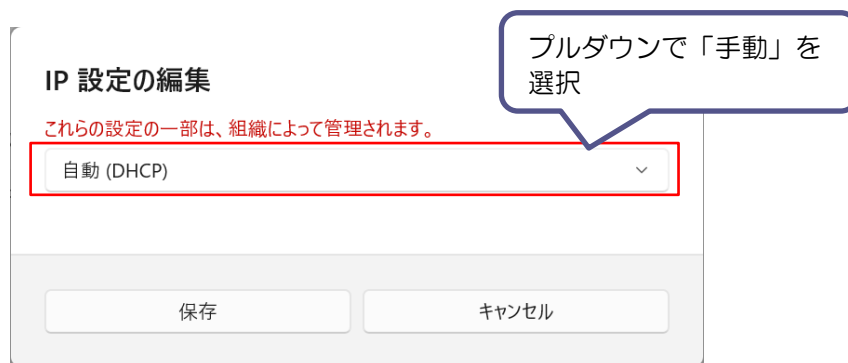


図4 IP 設定の編集

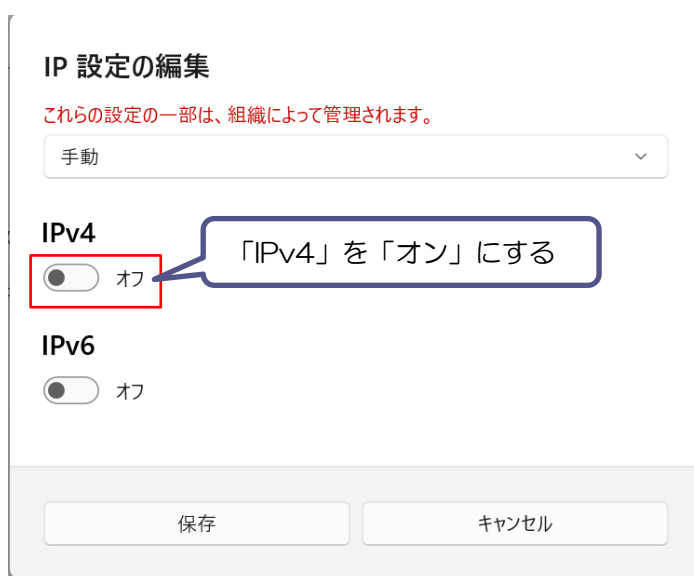


図5 IP 設定の編集

- (3) 専用ゲートウェイのネットワーク体系（出荷時の設定）に合わせるため、「IP アドレス」、「サブネットマスク」を以下の値に設定してください。IP アドレスの設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックして「IP 設定の編集」画面を閉じてください。

表 3：設定値

IPアドレス	192.168.253.111
サブネットマスク	255.255.255.0

IP 設定の編集

これらの設定の一部は、組織によって管理されます。

手動

IPv4

オン

IP アドレス

サブネット マスク

ゲートウェイ

優先 DNS

HTTPS 経由の DNS

保存

キャンセル

図 6 IP設定の編集

以上で PC の IP アドレスの設定は終了になります。

2.3 PCのプロキシ設定方法

プロキシサーバーを利用したネットワークをご利用の方は、専用ゲートウェイの設定を行う際、プロキシ設定を一時的に「オフ」にしてください。下記の手順で実施してください。

- (1) Windows の「設定」を開き、「ネットワークとインターネット」を選択して、「プロキシ」をクリックしてください。



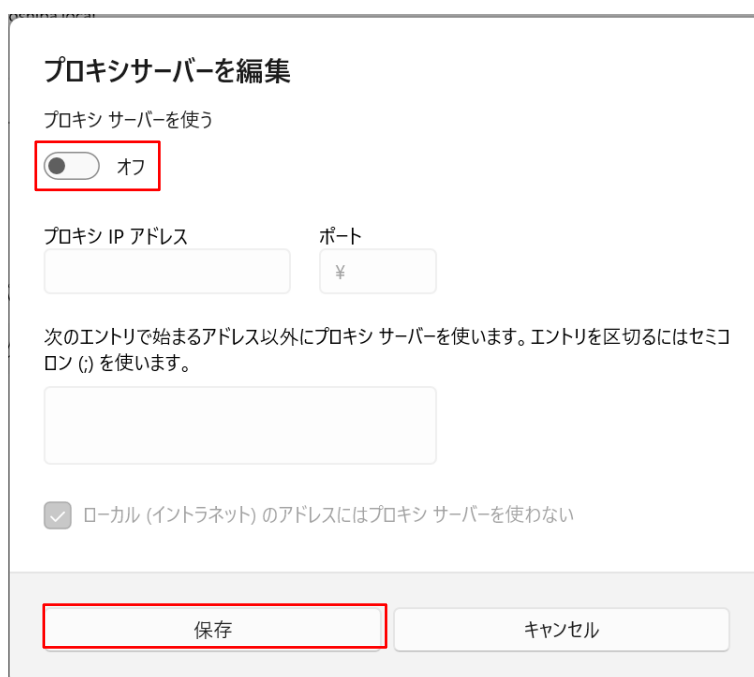
図7 ネットワークとインターネット

- (2) 「手動プロキシセットアップ」の「編集」をクリックしてください。



図8 プロキシ設定

- (3) 「プロキシサーバーを使う」を「オフ」にして、「保存」ボタンをクリックして「プロキシサーバーを編集」画面を閉じてください。



プロキシサーバーを編集

プロキシサーバーを使う

☒ オン ☐ オフ

プロキシ IP アドレス ポート

次のエントリで始まるアドレス以外にプロキシサーバーを使います。エントリを区切るにはセミコロン (;) を使います。

☒ ローカル (イントラネット) のアドレスにはプロキシサーバーを使わない

保存 キャンセル

図9 プロキシサーバーを編集

以上でプロキシサーバーの設定は終了になります。専用ゲートウェイの設定が完了しましたら、元の設定に戻すのを忘れないでください。

3. 専用ゲートウェイの仮配置

3.1 専用ゲートウェイの各部名称

専用ゲートウェイ（ゲートウェイ本体、AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブル）の各製品の説明をします。ゲートウェイ本体の全体の外観、前面は下図のようになります。

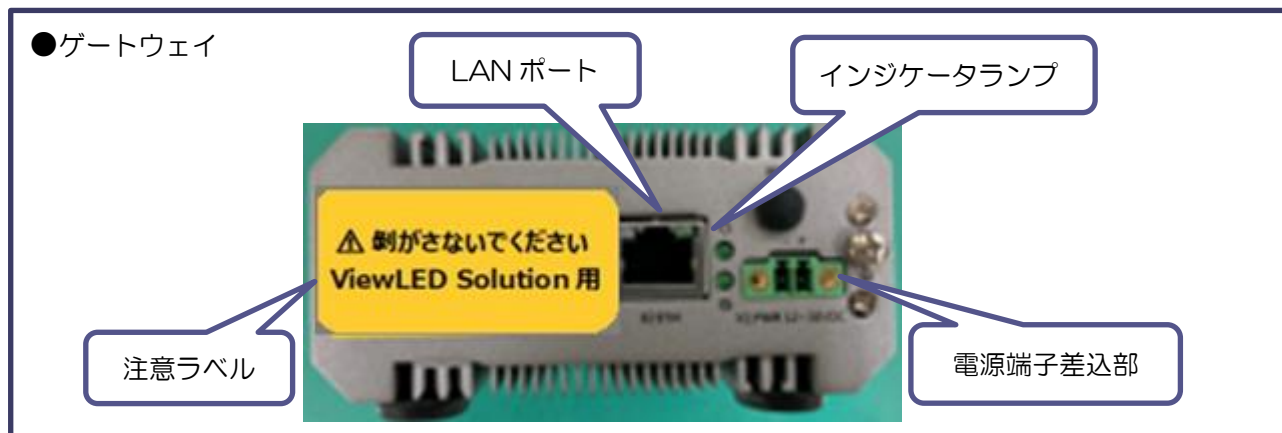


図 10 ゲートウェイ本体の外観図

AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルの各製品の外観は下図のようになります。



図 11 AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルの外観図

3.2 専用ゲートウェイの各配線の接続

専用ゲートウェイの管理画面で初期設定を行うため、一時的にゲートウェイ本体を机上に配置してください。

次にゲートウェイ本体と AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルおよび LAN ケーブルを接続します。接続手順は以下になります。

- (1) ゴム足の両面テープのはく離紙をはがし、ゲートウェイ本体の底面に貼り付けてください。（ただし、水平設置以外をご検討の方は、本作業を行う必要ありません。）
- (2) AC アダプタのコード先端にあるコネクタ部（緑色）をゲートウェイ本体の電源端子差込部に差し込んでください。



図 12 ゲートウェイ本体への AC アダプタ電源端子の接続

- (3) コネクタ部（緑色）の左右の固定用ねじをマイナスドライバーで締めてください。

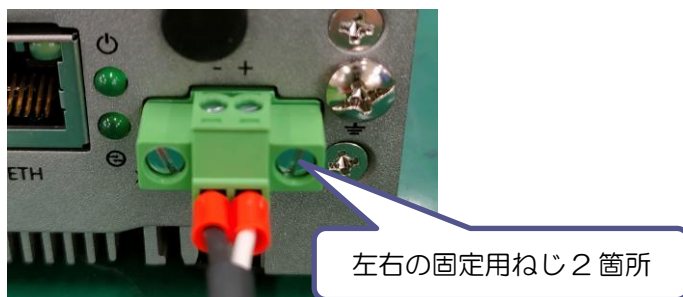


図 13 コネクタ部（緑色）のねじ固定部の拡大図

- (4) AC アダプタに AC アダプタ用ケーブルを差し込んでください。



図 14 AC アダプタへの AC アダプタ用ケーブルの接続

- (5) AC アダプタ用ケーブルの3P プラグを単相 100V 用コンセント（接地極付）に差し込んでください。



図 15 AC アダプタ用ケーブルの3P プラグの差し込み図

- (6) ゲートウェイ本体の LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルの反対側は PC に接続し、ゲートウェイ本体のインジケータランプが点灯することを確認してください。



警告

- AC アダプタのコネクタ部の左右の固定用ねじは確実に締めてください。ねじ締めされていない場合、動作不良や故障の原因となります。
- コネクタ部（緑色）の留め具（オレンジ色）から電源線が 2 本とも外れた場合、電極の+と-を逆に挿した場合はショートしますので図 16 のとおりに再度差し込んでください。

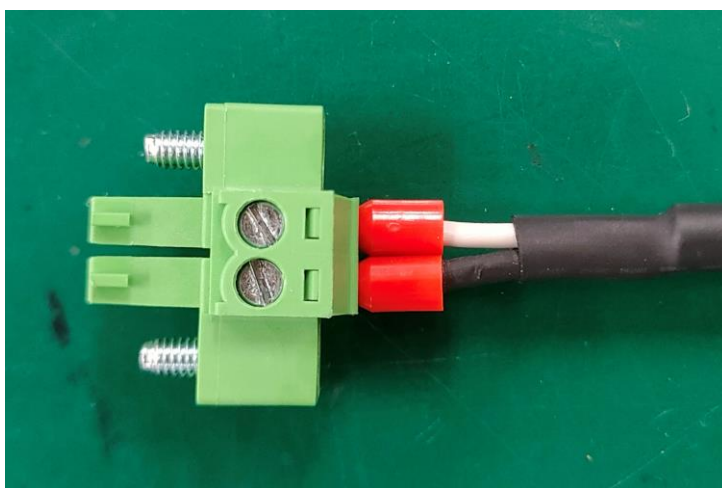


図 16 コネクタ部（緑色）に差し込まれる電源線の電極の見分け方

4. 専用ゲートウェイの設定

4.1 専用ゲートウェイの管理画面を開く手順

ゲートウェイ本体への配線接続の完了後、専用ゲートウェイの管理画面での設定を行います。以下の手順で Web ブラウザから管理画面にアクセスし、必要な設定をしてください。専用ゲートウェイが複数台ある場合は、1 台ずつ順番に以下の操作を専用ゲートウェイの台数分で実施してください。

- (1) PC 上で Web ブラウザを開き、専用ゲートウェイの設定画面を表示してください。ブラウザのアドレスバーに「http://192.168.253.254」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押して管理画面を開いてください。



図 17 アドレスバー入力画面

- (2) 「使用許諾契約書」の内容をご確認のうえ、「同意する」ボタンをクリックしてください。

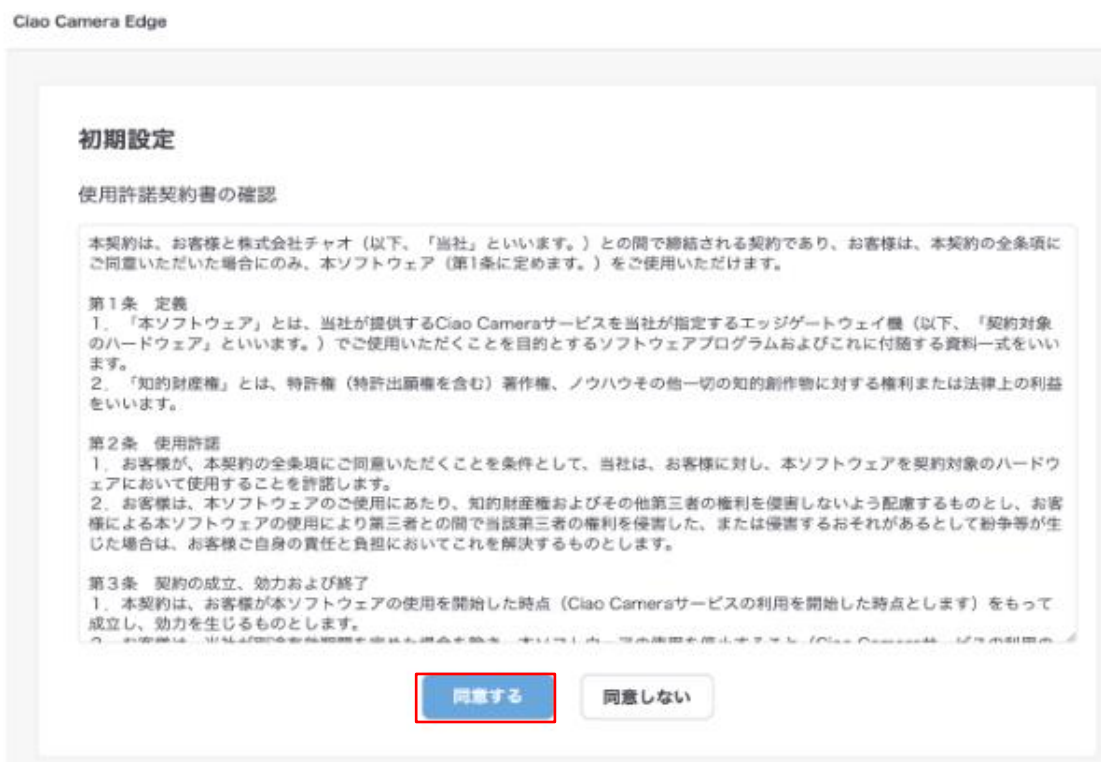


図 18 「Ciao Camera Edge の使用許諾契約書」の確認画面

- (3) 初期設定画面で、1.5 項の表 2 にあらかじめ記載しておいた「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワード（確認）」を入力し、「保存」ボタンをクリックしてください。管理ユーザーは 1 名のみ作成でき、パスワードはログイン後に変更することができます。**パスワードを忘れると管理画面にログインできなくなります。（パスワードをログイン前にリセットする方法はございません。）**

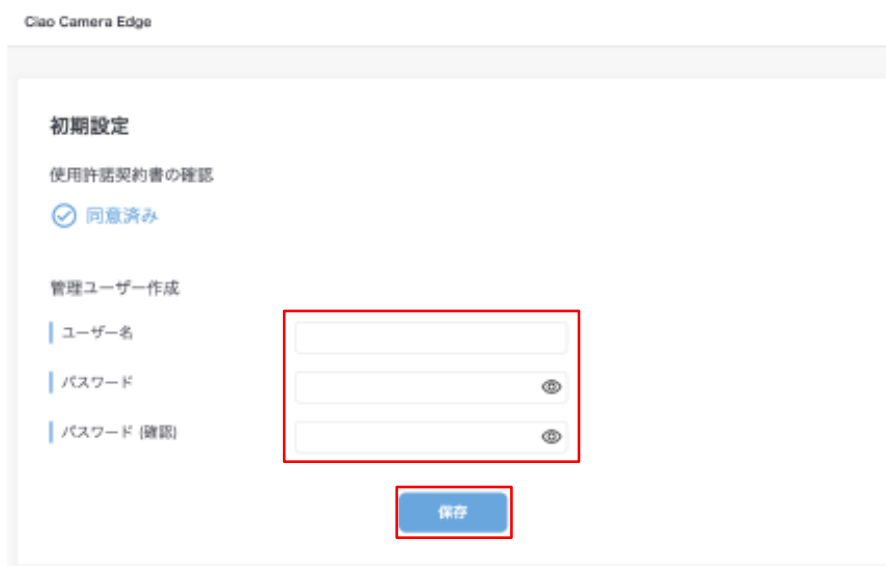


図 19 Ciao Camera Edge の管理ユーザー作成画面

- (4) 管理ユーザーの作成後、「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックしてください。一定時間操作がなかった場合やログアウトした場合には、再度ログインが必要となります。

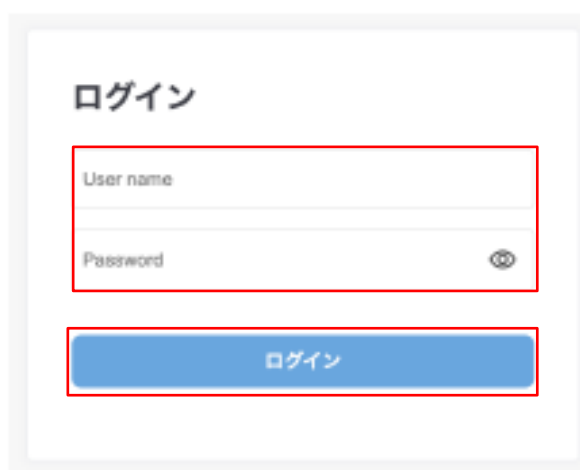


図 20 Ciao Camera Edge のログイン画面



注意

- 管理ユーザーのユーザー名の文字数は4文字以上としてください。使用可能な文字種類は英字の小文字（a～z）、英字の大文字（A～Z）、数字（0～9）となります。
- 管理ユーザーのパスワードは6文字以上としてください。使用可能な文字種類に制限はありません。

4.2 専用ゲートウェイの初期設定

専用ゲートウェイの管理画面の初期設定の方法について、設定手順を以下で説明します。

- (1) 専用ゲートウェイの IP アドレスの設定を行うため、「ネットワーク」タブを選択し、「ネットワーク」画面を開いてください。「基本設定」、「IP アドレス」、「プロキシサーバー」の各項目に 1.5 項の表 2 にあらかじめ記載しておいた値を入力してください。各項目の入力完了後、2 箇所の「保存」ボタンをクリックしてください。「ネットワーク」画面の設定内容を保存すると設定反映のため、専用ゲートウェイのソフトウェアが再起動します。

ダッシュボード ネットワーク Ciao Camera設定 時刻設定 パスワード変更 動作状態 メンテナンス

ネットワーク

基本設定

ホスト名: debian

ドメイン名:

デフォルトゲートウェイ:

DNSサーバー 1:

DNSサーバー 2:

IPアドレス

IPアドレス設定: ☐ 静的 ☒ DHCP

IPアドレス: 192 168 253 254

サブネットマスク:

保存

プロキシサーバー

使用有無: ☐ 使用する ☒ 使用しない

プロキシプロトコル: HTTP

プロキシサーバー:

プロキシ用ポート:

プロキシ用ユーザーID:

プロキシ用パスワード:

非プロキシ経由アクセスホスト:

保存

図 21 「ネットワークタブ」画面

- (2) ゲートウェイのソフトウェアが再起動した後、2.2 項「PC の設定変更」で設定した PC の IP アドレスと4.2 項「専用ゲートウェイの初期設定」で設定した専用ゲートウェイのネットワーク帯が異なる場合は、ブラウザ画面の接続が中断されます。4.2 項（1）で設定した専用ゲートウェイの IP アドレスに合わせて、再接続するために、改めて PC のネットワーク設定を行ってください。



接続が中断されました

ネットワークの変更が検出されました。

ERR_NETWORK_CHANGED

図 22 Web ブラウザの表示

- (3) PC のネットワーク設定の方法は、2.2 項「PC の設定変更」と同様の手順です。「IP 設定の編集」画面において、専用ゲートウェイと同じネットワーク帯の「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力して、「保存」ボタンをクリックしてください。

図 23 IP 設定の編集（IP アドレス変更後）

- (4) PCのネットワーク設定の変更を実施後、Webブラウザのアドレスバーに4.2項(1)で設定した専用ゲートウェイの新しいIPアドレスを入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

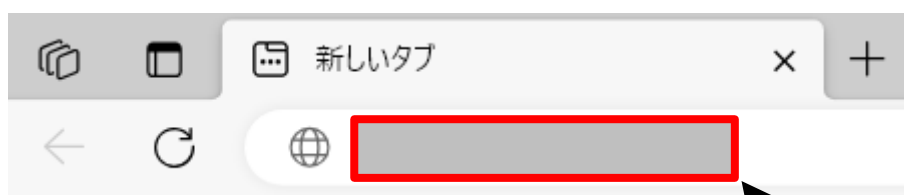


図 24 アドレスバー入力画面 (IP アドレス変更)

- (5) ログイン画面で「ユーザーID」、「パスワード」を入力すると、下記の「ダッシュボード」画面が開きます。



図 25 ログイン直後の「ダッシュボード」画面

- (6) 「Ciao Camera 設定」タブを選択し、「Ciao Camera 設定」画面を開いてください。「エンドポイント」、「アプリコード」、「パスワード」の各項目に 1.5 項の表 2 にあらかじめ記載しておいた値を入力してください。各項目の入力完了後、「保存」ボタンをクリックしてください。「Ciao Camera 設定」画面の設定内容を保存すると設定反映のため、専用ゲートウェイのソフトウェアが再起動します。

図 26 「Ciao Camera 設定」画面

- (7) 「時刻設定」タブを選択し、「時刻設定」画面を開き、「PC と時刻を同期」で「同期」ボタンをクリックしてください。この操作を行うことで、現在、専用ゲートウェイに接続している PC の時刻が専用ゲートウェイに設定されます。（同期する際は、「時刻同期設定」の項目が「同期しない」に選択されている必要があります。）

図 27 「時刻設定」画面



注意

- ゲートウェイ本体の開梱直後には、設定時刻がズれている可能性がありますので、必ず「PC と時刻を同期」の操作をしてください。
- 同期した時刻が正しいことをご利用のスマートフォンなどで確認してください。
- 設定時刻がズれている場合は、ゲートウェイ本体を接続している PC の時刻を正しい時刻に修正したうえで、改めて「PC と時刻を同期」の操作をしてください。
- 設定時刻がズれている場合は、正しく ViewLED Solution をご利用いただけないことがあります。

- (8) 「PC と時刻を設定」の操作を行った後に、「タイムゾーン」を「Asia/Tokyo」に設定します。さらに「時刻同期設定」を「NTP」に設定のうえ、「NTP サーバー」に 1.5 項の表 2 にあらかじめ記載しておいた値を入力してください。各項目を入力した後に、「保存」ボタンをクリックしてください。特に指定がない場合は、デフォルトで入力されている、「ntp.nict.jp」をご利用ください。（「ntp.nict.jp」は国立研究開発法人情報通信研究機構による日本標準時接続の NTP サーバーです。）

図 28 「時刻設定」画面



注意

- 「ネットワーク」、「Ciao Camera 設定」、「時刻設定」の設定完了後に正常に動作しない場合は、AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜いた後、再度差し込み、専用ゲートウェイを再起動させてください。
- お客様のネットワーク設定によっては、外部（インターネットに公開されている）の NTP サーバーとの接続が行えない場合があります。その際は、必ずお客様のネットワーク内でご利用可能な NTP サーバーを設定してください。
- NTP サーバーとの接続ができない場合は、時間経過とともに時刻ズレが発生して、正しく ViewLED Solution をご利用いただけないことがあります。

4.3 専用ゲートウェイの管理画面の詳細説明

専用ゲートウェイの管理画面について、その他の画面を説明します。

(1) 「ダッシュボード」画面

リソース情報、各種設定情報の確認が可能です。各項目について以下で説明します。

- 「ハードウェアリソース」では、ゲートウェイ本体の「メモリ」、「ストレージ」の各情報が確認できます。
- 「ネットワーク」では、「FQDN」、「ゲートウェイ」、「IP アドレス」の各情報が確認できます。また、これら項目は、「ネットワーク」画面で設定を行うことができます。
- 「セットアップ状況」では、「ネットワーク状況」、「CiaoCamera 設定」、「CiaoCamera バージョン」の各情報が確認できます。
 - 「ネットワーク状況」が「NG」、または「CiaoCamera 設定」が「NG」となっている場合は 4.4 項「専用ゲートウェイの管理画面の困ったとき」をご確認ください。
 - 「CiaoCamera バージョン」には専用ゲートウェイで動作しているソフトウェアのバージョンが表示されます。ソフトウェアのアップデートが可能な場合には、アップデートボタンが表示されます。自動アップデートの仕組みが備わっているため、通常操作は不要ですが、「アップデート」ボタンをクリックして手動でアップデートすることもできます。



図 29 「ダッシュボード」画面



注意

- 自動アップデート機能によりアップデートが実行されている際、映像取得ができない事がありますのでご注意ください。

(2) 「パスワード変更」画面

管理ユーザー作成で設定したパスワードの変更ができます。

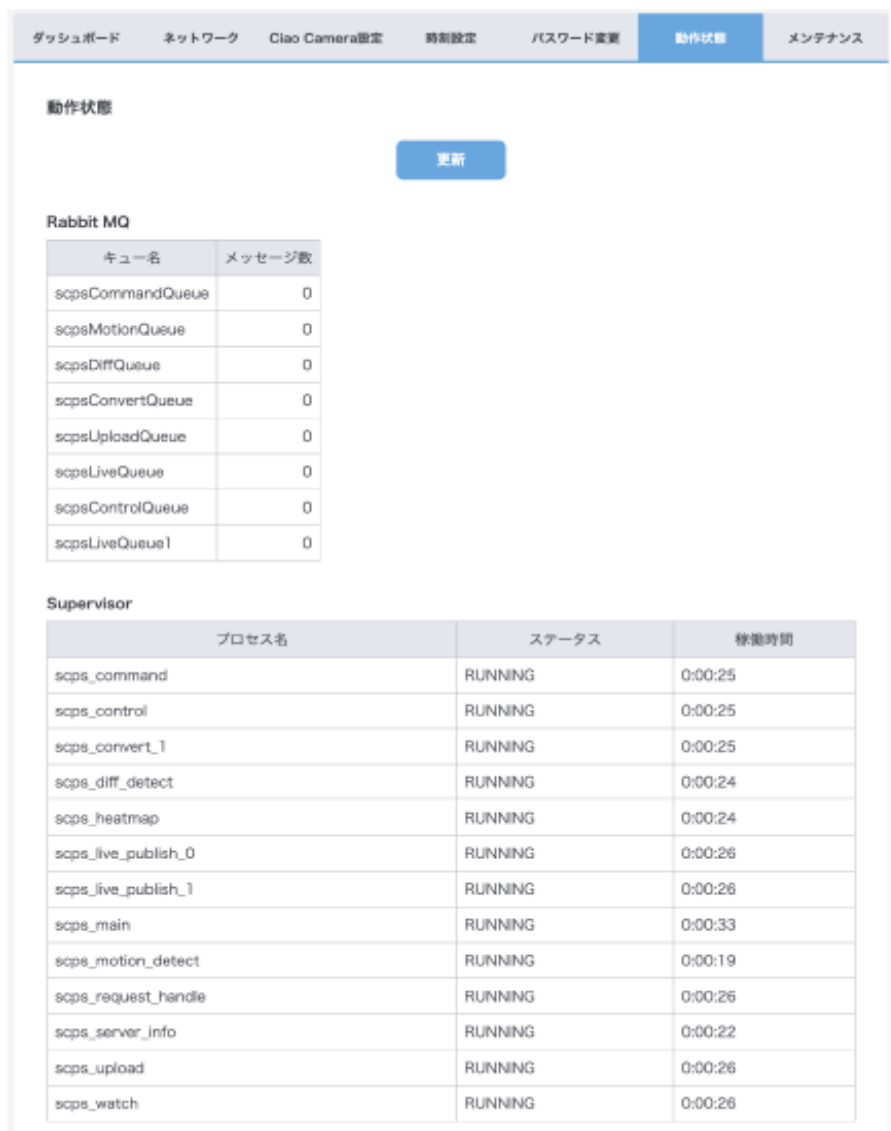


図 30 「パスワード変更」画面

(3) 「動作状態」画面

専用ゲートウェイの動作状態が確認できます。「更新」ボタンを押すと、最新の状態を表示します。

異常がある場合には「Supervisor」の下に赤字でエラーメッセージが表示されます。対応方法を 4.4 項「専用ゲートウェイの管理画面の困ったとき」に記載していますので、ご確認ください。



キュー名	メッセージ数
scpsCommandQueue	0
scpsMotionQueue	0
scpsDiffQueue	0
scpsConvertQueue	0
scpsUploadQueue	0
scpsLiveQueue	0
scpsControlQueue	0
scpsLiveQueue1	0

プロセス名	ステータス	稼働時間
scps_command	RUNNING	0:00:25
scps_control	RUNNING	0:00:25
scps_convert_1	RUNNING	0:00:25
scps_diff_detect	RUNNING	0:00:24
scps_heatmap	RUNNING	0:00:24
scps_live_publish_0	RUNNING	0:00:26
scps_live_publish_1	RUNNING	0:00:26
scps_main	RUNNING	0:00:33
scps_motion_detect	RUNNING	0:00:19
scps_request_handle	RUNNING	0:00:26
scps_server_info	RUNNING	0:00:22
scps_upload	RUNNING	0:00:26
scps_watch	RUNNING	0:00:26

図 31 「動作状態」画面

(4) 「メンテナンス」画面

「アプリの再起動」、「機器の再起動」、「機器の設定初期化」ができます。また、「機器の設定初期化」を実施すると、初期設定前の状態に戻ります。

(メンテナンス時以外の通常は、使用しないでください。また、この画面中の「機器」とは、専用ゲートウェイのことを指します。)



図 32 「メンテナンス」画面

4.4 専用ゲートウェイの管理画面で困ったとき

専用ゲートウェイの管理画面において、困ったときの対応例を以下で説明します。

(1) 「ネットワーク状況」に「NG」と表示される場合の例

「ダッシュボード」画面の「セットアップ状況」の「ネットワーク状況」に「NG」と表示される場合は、以下をご確認ください。

- 「ネットワーク」画面の各項目の設定値が正しいかをご確認ください。
- 専用ゲートウェイがインターネットに接続しているかをご確認ください。



図 33 ネットワーク状況が NG の例

(2) 「CiaoCamera 設定」に「NG」と表示される場合の例

「ダッシュボード」画面の「セットアップ状況」の「CiaoCamera 設定」に「NG」と表示される場合は、以下をご確認ください。

- 「CiaoCamera 設定」画面の各項目の設定値が正しいかをご確認ください。



図 34 「CiaoCamera 設定」が「NG」の例

(3) 「CiaoCamera バージョン」が表示されない場合の例

「ダッシュボード」画面の「セットアップ状況」の「CiaoCamera バージョン」に「最新バージョンを取得できませんでした。Ciao Camera 設定を確認してください」と表示される場合、以下をご確認ください。

- お客様のネットワークで帯域制限が行われていないかをご確認ください。
- 更新データのダウンロードに 10 秒以上かかる場合は、バージョンアップは中止されて、10 分後にリトライとなります。（通常、更新データのファイルサイズは、数MB程度です。）

(4) 「Supervisor」プロセスの異常時の例

「動作状況」画面の「Supervisor」の各ステータスが「RUNNING」以外で、赤色表示されている場合は、下記のいずれかを試してください。

- 「メンテナンス」画面の「アプリ再起動」を行い、専用ゲートウェイのソフトウェアを再起動することで解決する場合があります。
- 「ダッシュボード」画面の「セットアップ状況」を確認し「NG」と表示されている場合には、上記の(1)または(2)もご確認ください。

ダッシュボード ネットワーク Ciao Camera設定 時間設定 パスワード変更 **動作状況** メンテナンス

動作状態

更新

Rabbit MQ

キュー名	メッセージ数
scpsCommandQueue	0
scpsMotionQueue	0
scpsDiffQueue	0
scpsConvertQueue	0
scpsUploadQueue	0
scpsLiveQueue	0
scpsControlQueue	0
scpsLiveQueue1	0

Supervisor

※mainプロセスが正常に動作していません。
「メンテナンス」画面から「アプリの再起動」を実行していただく事で解決する可能性があります。

メンテナンス画面へ

プロセス名	ステータス	稼働時間
scps_command	RUNNING	15:06:57
scps_control	RUNNING	15:06:57
scps_convert_1	RUNNING	15:06:57
scps_diff_detect	RUNNING	15:06:56
scps_heatmap	RUNNING	15:06:56
scps_live_publish_0	RUNNING	15:06:58
scps_live_publish_1	RUNNING	15:06:58
scps_main	FATAL	
scps_motion_detect	RUNNING	15:06:51
scps_request_handle	RUNNING	0:12:58
scps_server_info	RUNNING	15:06:54
scps_upload	RUNNING	15:06:58
scps_watch	RUNNING	15:06:58

図 35 「Supervisor」プロセス異常時の例

4.5 専用ゲートウェイの疎通確認

専用ゲートウェイの初期設定の完了後、専用ゲートウェイに対してネットワークの疎通確認を行います。

- (1) 疎通確認を行うために、接続している PC で「コマンドプロンプト」を起動してください。
- (2) PC のキーボードの「Windows マークキー」と「R キー」を押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログを開きます。画面を開いた後、「名前」入力ボックスに「cmd」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

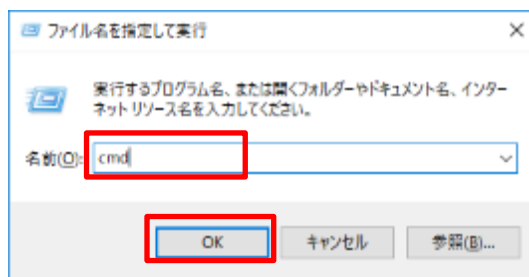


図 36 ファイル名を指定して実行画面

- (3) 「コマンドプロンプト」が起動したら「ping」、「半角スペース」、「専用ゲートウェイの IP アドレス」を入力し、キーボードの「Enter キー」を押してください。以下は専用ゲートウェイの IP アドレスが「172.16.0.30」の場合の例になります。（専用ゲートウェイが複数ある場合は各々の異なる IP アドレスを入力する必要があります。）

```
ping 172.16.0.30
```

図 37 ping 入力画面

- (4) ping 統計のパケットが 「損失 = 0（0% の損失）」であることを確認してください。

```
172.16.0.30 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
172.16.0.30 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=255
172.16.0.30 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=255
172.16.0.30 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=255
172.16.0.30 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=255

172.16.0.30 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)
ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 0ms、最大 = 2ms、平均 = 1ms
```

図 38 ping 確認画面

- (5) 上記画面の確認が完了できたら終了になります。専用ゲートウェイが複数台ある場合は、この操作を専用ゲートウェイの台数分実施してください。
- (6) 専用ゲートウェイの疎通確認がすべて完了できたら、右上の「x」ボタンをクリックするか、「コマンドプロンプト」画面で「exit」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押して「コマンドプロンプト」画面を閉じてください。

5. 専用ゲートウェイの本設置・関連機器の接続

5.1 専用ゲートウェイの本設置

専用ゲートウェイの各設定が完了し、PC と専用ゲートウェイの疎通確認が取れた後、仮配置していた場所から本設置予定の場所にゲートウェイ本体を移動させてください。本設置をする場所は水平な場所に置くことを推奨します。（底面や背面にねじ固定穴がありますので、必要に応じてご活用ください。）

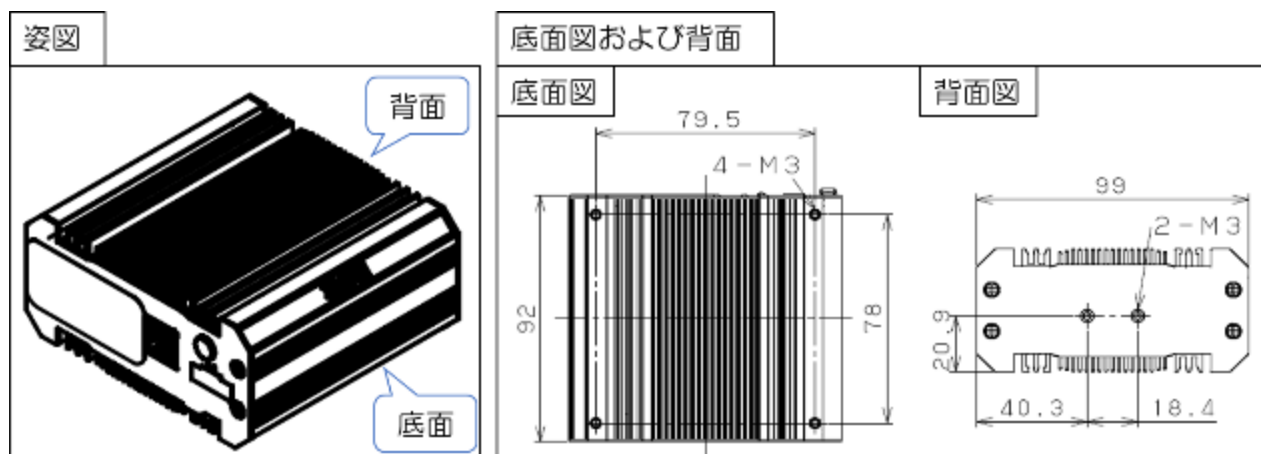


図 39 ゲートウェイ本体の姿図、底面図および背面図（ねじ穴寸法）



注意

- ゲートウェイ本体には、上下の向きがあります。底面を下向きとなるようにしてご使用ください。
- 前後左右および上部を各 10cm 以上空けてご使用ください。
- ゲートウェイ本体と AC アダプタは離して設置してください。
- ゲートウェイ本体に接続した AC アダプタの電源端子に応力を加えないようにご注意ください。
- ゲートウェイ本体に貼付されている注意ラベルは剥がさないでください。

専用ゲートウェイは、以下の条件でご使用ください。

- 周囲温度 5℃～35℃以内で使用してください。密閉する空間などには、設置しないでください。
- 付属品の AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルをご使用ください。
- 高湿度環境下（85%以上）では、使用できません。
- 一般屋内専用です。雨や風が当たる箇所、振動や衝撃のある箇所、粉塵、腐食性ガス、オイルミストなど発生する箇所では、使用できません。
- 虫が飛来する箇所では、ご使用しないでください。

5.2 専用ゲートウェイと関連機器の接続

事前にご準備いただいた、ネットワーク機器を用いて、1.2 項の図 1 「ViewLED Solution の製品構成図（一例）」と同様の構成となるように関連機器を順番に接続していきます。以下の手順で接続を進めてください。

- （1） ゲートウェイ本体は、ViewLED と同一ネットワーク内にあるネットワークHUBに有線 LAN ケーブルで接続してください。
- （2） 設定閲覧用 PC は、ViewLED と同一ネットワーク内にあるネットワークHUBに有線 LAN ケーブルで接続するか、無線 LAN 経由で無線アクセスポイントに接続してください。
- （3） 設定閲覧用 PC の「プロキシ設定」を「オフ」にしている場合は、設定を「オン」に戻してください。（2.3 項参照）



注意

- ゲートウェイ本体ならびに関連機器の電源が途絶えた場合、その前後の映像データは欠落する恐れがあります。
- ネットワークが断絶（瞬断を含む）した場合、その前後の映像データは欠落する恐れがあります。
- 電源線と有線 LAN ケーブルを隣接させないでください。ノイズの原因となります。
- 有線 LAN ケーブルは CAT5e 規格以上をご利用ください。また、配線の長さは 50m 以内を推奨します。

5.3 専用ゲートウェイのインジケータの点灯パターン

ゲートウェイ本体をネットワーク機器に接続した際、各々のインジケータが点灯または点滅します。点灯パターンを下記の図、正常点灯時の点灯パターンを表4に示しておりますので、ご参照ください。

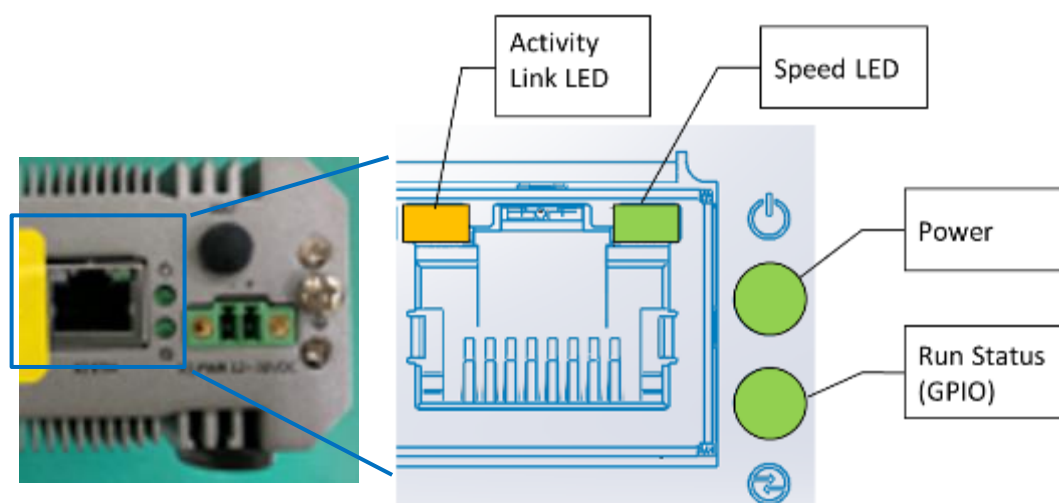


図 40 インジケータの説明図

表4：インジケータの点灯パターン

分類	名称	ランプ位置	定常状態 (電源 ON、LAN 接続時)	備考
ゲートウェイ 本体用	Power	上	緑点灯	・ 電源オフ時は消灯
	Run Status (GPIO)	下	消灯	・ 電源オフ時も消灯 ・ 電源オンの際に約 1 秒間緑点灯 その後、電源オン時も常時消灯
イーサネット用	ActivityLink LED	左	(i) オレンジ点灯 または (ii) 緑点灯	・ 有線 LAN ケーブルを抜くと消灯
	Speed LED	右	約 0.5sec 周期緑点滅	・ 有線 LAN ケーブルを抜くと消灯

6. クラウドへの接続確認

ViewLED の映像情報が正常にクラウドに届いていることを確認します。

- (1) インターネット接続可能な PC を準備し、Web ブラウザを開いてください。（推奨ブラウザは Google Chrome です。以下は Google Chrome 使用時の手順を記載します。）
- (2) アドレスバーに「<https://viewled-solution.ciaoinc.jp/>」を入力して、キーボードの「Enter」を押してください。
- (3) クラウドへのログイン画面が表示されるので、1.5 項の表 2 にあらかじめ記載しておいた「クラウド接続用ユーザーID」と、「クラウド接続用パスワード」を入力して、「→」ボタンをクリックしてください。

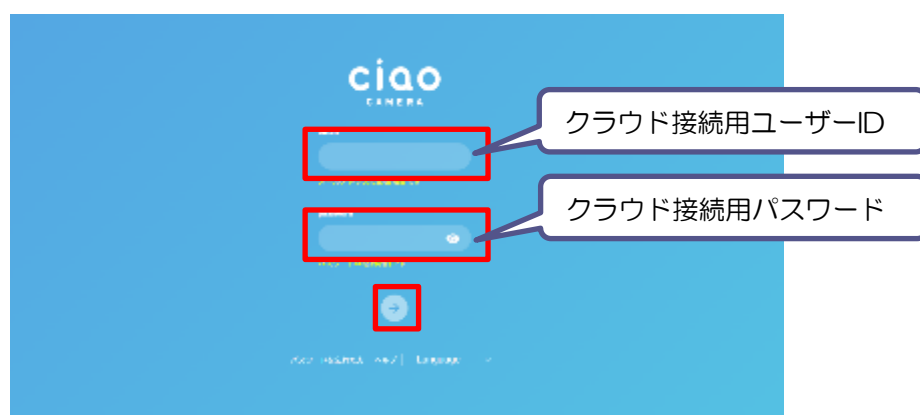


図 41 クラウドへのログイン画面

- (4) ViewLED の映像を確認しますので、カメラの一覧から、確認したいカメラの名称をクリックしてください。（ViewLED に接続後、映像表示に時間がかかる場合があります。）

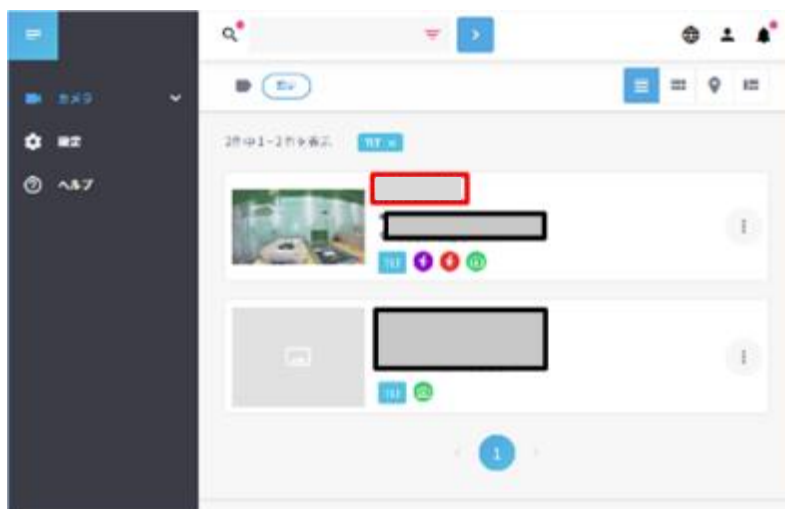


図 42 カメラの選択画面

- (5) ViewLED からの LIVE 映像が表示されることを確認してください。（「LIVE」ボタンが有効になっている場合、リアルタイムの映像を確認できます。）

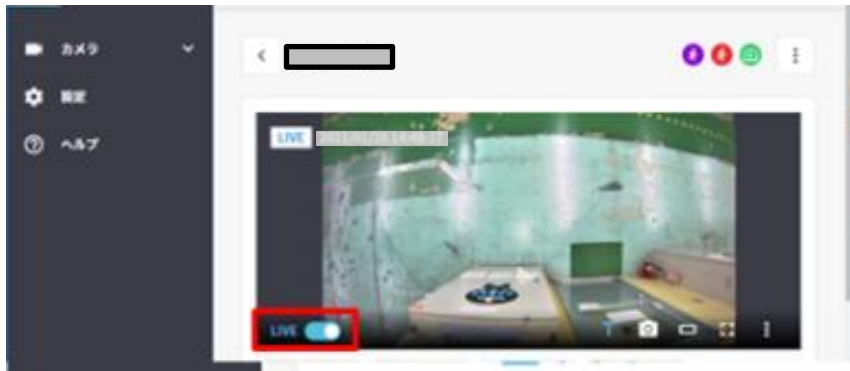


図 43 LIVE 映像閲覧画面

- (6) ViewLED からの過去映像が表示されることを確認してください。（「LIVE」ボタンが無効になっている場合、過去に録画した映像を確認できます。）

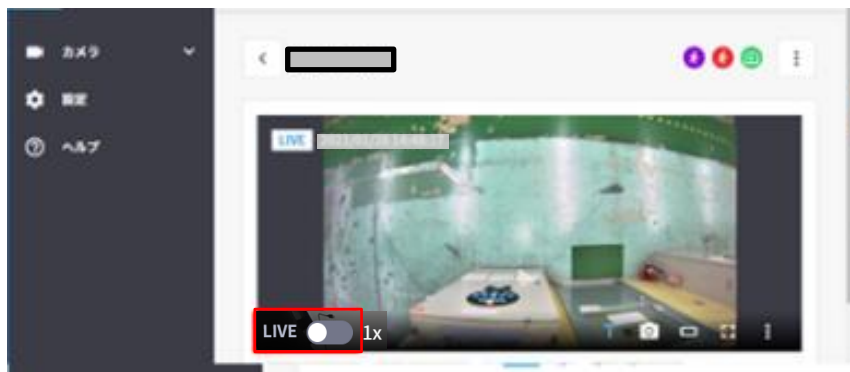


図 44 過去映像閲覧画面

- (7) 「映像を読み込んでいます。」と表示された場合は、少し時間をおいてから再度カメラ名称をクリックしてください。



図 45 映像読み込み画面

- (8) 残りの ViewLED に対しても同様の確認を実施してください。

問題なく LIVE 映像と過去映像が確認できれば、確認作業は完了となります。

7. サポート・お問い合わせ

- 当社は、お客様の ViewLED Solution ご契約期間中、利用者が設定した運用窓口からの専用ゲートウェイに関する仕様または操作方法に関する質問、専用ゲートウェイが正常に動作しない場合における原因調査、回避措置に関する質問または相談は下記窓口にて受け付けています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供することがあります。

東芝ライテック商品ご相談センター

■お電話でのお問い合わせ

固定電話から

0120-66-1048（通話料:無料）

携帯電話から

046-862-2772（通話料:有料）

FAX

0570-000-661（通信料:有料）

■Eメールでのお問い合わせ

TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

■東芝ライテックホームページ

<https://www.tlt.co.jp>

■個人情報のお取り扱いについて

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へお客様の個人情報を提供することがあります。

8. 商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- その他の商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

東芝ライテック株式会社

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

お問合せ先E-mail: TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

無断複製および転載を禁ず

日本国内専用

Use only in Japan

© 2023 Toshiba Lighting & Technology Corporation

発行年月	2023年10月04日
発行 No.	CPSMN-00092

ViewLED Solution 用 ゲートウェイ施工説明書

目次

はじめに	3
安全上のご注意	4
1. 本製品について	9
1.1 ViewLED Solution とは	9
1.2 ViewLED Solution の製品構成	9
1.3 ViewLED Solution の各種取扱説明書	9
1.4 ViewLED Solution の施工・設定の流れ	10
1.5 ViewLED Solution 利用時の事前準備	10
2. PC の準備	12
2.1 PC 設定時のご注意	12
2.2 PC の設定方法	12
2.3 PC のプロキシ設定方法	15
3. 専用ゲートウェイの仮配置	16
3.1 専用ゲートウェイの各部名称	16
3.2 専用ゲートウェイの各配線の接続	17
4. 専用ゲートウェイの設定	19
4.1 専用ゲートウェイの管理画面を開く手順	19
4.2 専用ゲートウェイの初期設定	21
4.3 専用ゲートウェイの管理画面の詳細説明	25
4.4 専用ゲートウェイの管理画面で困ったとき	27
4.5 専用ゲートウェイの疎通確認	30
5. 専用ゲートウェイの本設置・関連機器の接続	31
5.1 専用ゲートウェイの本設置	31
5.2 専用ゲートウェイと関連機器の接続	32
5.3 専用ゲートウェイのインジケータの点灯パターン	32
6. クラウドへの接続確認	33
7. サポート・お問い合わせ	35
8. 商標について	36

はじめに

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの施工説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- この施工説明書では、装置の基本操作、周辺機器との接続方法、トラブルで正しく動かなくなったときの対処の仕方について説明しています。
- お読みになったあとは、必要なときはすぐに取り出せるように大切に保管してください。
- この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。

■ 対象製品について

- 本書は、以下の製品に対応したものとなっております。

KUBER2110-4G64GAC

■ 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万が一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い上げの販売店へご連絡ください。

■ 用途制限について

ご購入いただきました KUBER2110-4G64GAC は、一般用を意図しています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用はおやめください。

このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする用途例としましては、化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御、交通管制装置等です。

■ 著作権について

映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作権者及び著作権者の権利が保護されています。権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用をこころがけていただきますよう、お願いいたします。

■ 免責事項について

保証期間にかかわらず、次の場合には当社は一切責任をおいしません。



- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）。
- 映像および録画に関する損傷、損失、不具合データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費など）。
- 当社が関与しない接続器、パソコンや HUB、パソコンとソフトウェアの組み合わせによる不良から生じた損害。
- 盗撮などの損害、撮影した映像に係る訴訟や損害および、個人情報保護に関する条例に対する損害。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害、財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。



次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。




- ＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の説明

図記号	表示の意味
 禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■ 全般について

 警告

分解・改造・修理・ソフトウェアの書き換えをしない 火災・感電・けがの原因となります。	 禁止
本製品は日本国内専用のため、国内でご使用ください 国外で使用すると火災や感電の原因となります。	 指示
AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルは、付属品をご使用ください それ以外のものを使用すると、火災の原因になります。	 指示

■ 設置・施工について



警告

<p>一般屋内専用のため、次の場所では使用、保管しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨・風の当たる場所 ・振動や衝撃のある場所 ・粉塵・腐食性ガス（塩素ガス・硫黄成分等）が発生する場所 ・オイルミストが発生する場所 ・虫が飛来する場所 	 禁止
<p>自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは、本製品を使用しない 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になります。</p>	 禁止
<p>周囲温度が5℃～35℃以内で使用してください 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>密閉する空間には設置しないでください 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>高湿度環境下（85%以上）では使用できません 故障・火災の原因となります。</p>	 指示
<p>器具の取り付けの際は手袋を着用してください けがの原因となります。</p>	 指示



注意

<p>傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。</p>	 禁止
<p>ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください 足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。</p>	 指示
<p>ケーブルの上に重量物を載せない。また、熱器具のそばに配線しない ケーブル被覆が破れ、発火、接続機器などの故障の原因になります。</p>	 禁止

■ 使用について



警告

ぬれた手で本製品を操作しない 火災、感電、故障の原因となります。	 禁止
移動するときは、AC アダプタをコンセントに接続した状態で移動しない ケーブルが傷つき、火災、感電の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタを布や断熱材で覆ったり、被せたりしない 内部の温度が上がり、火災、故障の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタを紙などの可燃物に近づけない 可燃物に燃え移り、火災の原因となります。	 禁止
本体や AC アダプタのすきまなどに針金などを差し込まない けが、感電・火災の原因となります。	 禁止



注意

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしない 発煙したり、接触不良などにより故障の原因になります。	 禁止
製品を廃棄するときは、次の内容を守ってください 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、各都道府県産業廃棄物協会にお問い合わせください。産業廃棄物管理票は、(社)全国産業廃棄物協会に用意されています。	 指示

■ AC アダプタ/AC アダプタ用ケーブルについて



警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない タコ足配線などで定格を超えると、火災、感電の原因になります。また、電力使用量オーバーでブレーカが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。	 禁止
ぬれた手で AC アダプタを抜き差ししない 感電の原因となります。	 禁止
AC アダプタ用ケーブルは、接地極付の単相 100V コンセントを使用し、奥まで確実に差し込んでください 確実に差し込んでいない場合や別の種類のコンセントを使用した場合、故障・感電・火災の原因となります。	 指示
AC アダプタ用ケーブルを取り扱うときは、次の内容を守ってください ・引っ張らない・傷つけない・ねじらない・物を載せない ・押し付けない・加熱しない・束ねない・無理に折り曲げない ・加工しない・熱器具のそばで使わない 守らないと、火災・感電の原因になります。	 指示
AC アダプタのコネクタ付近や AC アダプタ用ケーブルのプラグ付近にほこりがついているときは、AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜いて、乾いた布などでほこりを取ってください ほこりがたまると、火災の原因になります。	 指示
近くに雷が発生したときは、AC アダプタや接続ケーブルなどを抜いてください 雷によっては火災、感電、故障の原因となります。	 指示



注意

AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜くときは、ケーブルをしっかり持って抜いてください AC アダプタを引っ張って抜くと、ケーブルが傷つき火災、感電の原因となります。	 指示
--	--------

■ お手入れについて



警告

製品を水洗いしない 感電、故障の原因となります。	 禁止
金属部分をクレンザーやたわしで磨かない 傷、腐食の原因となります。お手入れの際は、乾いたやわらかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布を良くしぼってから拭いてください。	 禁止
傷や腐食・破損の原因となるため、次の方法で製品のお手入れをしない ・アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤でふかない ・洗剤・薬品などでふいたり殺虫剤をかけたりしない ・化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーを使用しない ・強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトン、同様の化学薬品は絶対に使用しない	 禁止
定期的に製品の清掃をしてください ほこり等による火災の原因となります。	 指示
お手入れの際は、AC アダプタをコンセントから抜いてください 感電・けがの原因となります。	 指示
定期的に電源をオフにした後、改めてオンにしてください 定期的な清掃時にご対応ください。	 指示

■ 異常時の対応について



警告

異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発熱、発煙したときは、すぐに AC アダプタをコンセントから抜いてください そのまま使用すると、火災、故障の原因になります。	 指示
本製品を落として破損した場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。	 指示

1. 本製品について

1.1 ViewLED Solution とは

カメラ付き LED 照明器具 ViewLED（ビューレッド）で撮影した画像をクラウド上の AI で解析し現場の課題を解決するソリューションサービスです。本サービスを利用する前に下記をご確認ください。

- ViewLED Solution の利用契約が必要です
- 本製品の他に、事前にカメラ付き LED 照明器具 ViewLED を施工する必要があります
- 本製品をご使用になる前には、IP 割付などの初期設定が必要です
- インターネットに常時接続できる環境が必要です

1.2 ViewLED Solution の製品構成

カメラ付き LED 照明器具と専用ゲートウェイがインターネットに接続し、クラウドと連携してサービスを提供します。

カメラ付き LED 照明器具と専用ゲートウェイをインターネットに接続するための機器や LAN ケーブルなどはお客様にでご購入、設置をお願いします。以下に製品構成の概要図を示します。

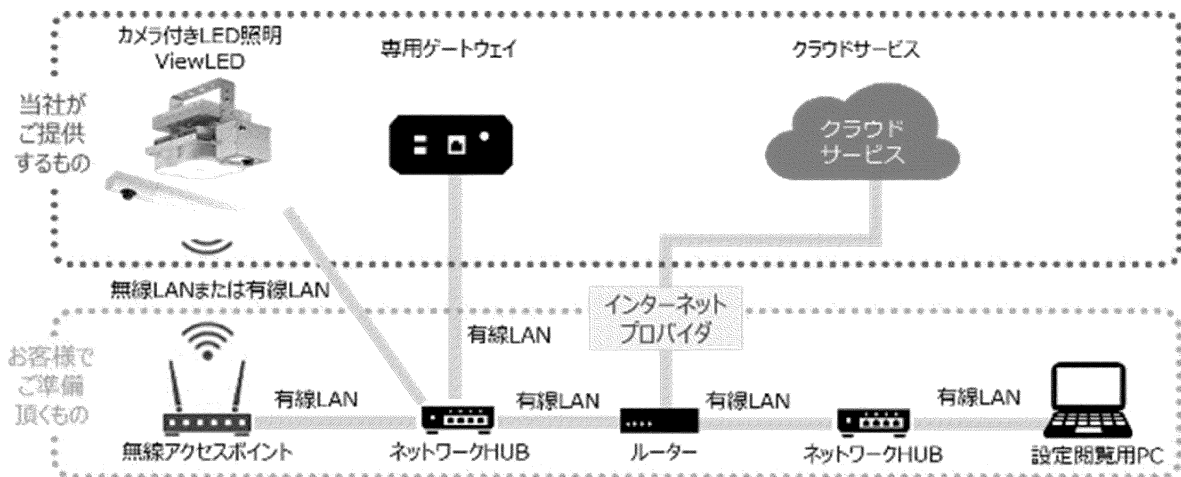


図 1 ViewLED Solution の製品構成図

1.3 ViewLED Solution の各種取扱説明書

ViewLED Solution を構成する機器の内、ご購入頂く機器の取扱説明書についてご説明します。

（1）カメラ付き LED 照明器具のクイックガイド

ご購入いただいた製品に同梱されております。クイックガイドにはカメラ付き LED 照明器具をご利用いただく際に必要な作業のフローを説明しておりますので、クイックガイドに沿って、各種取扱説明書などと合わせてご確認の上、施工およびカメラ設定を行ってください。

（2）ViewLED Solution 用ゲートウェイ施工説明書（本書）

専用ゲートウェイ（ゲートウェイ、AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブル）の施工・設定方法をご説明しております。

1.4 ViewLED Solution の施工・設定の流れ

ViewLED Solution の関連機器の施工・設定について、全体的な手順を以下で説明します。

1. カメラ付き照明器具 ViewLED のカメラ設定
2. カメラ付き照明器具 ViewLED の施工
3. 専用ゲートウェイの設定の準備（設定用 PC などの各種機器、IP アドレスなど各種情報の用意）
4. 専用ゲートウェイの仮設置（各配線の接続）
5. 専用ゲートウェイの設定
6. 専用ゲートウェイの本設置および関連機器の接続
7. クラウドへの接続

1 に関するご説明は、カメラ設定ツール操作説明書をご確認ください。カメラの設定ツール操作説明書は、クイックガイドに入手方法を記載しておりますので、クイックガイドをご参照ください。

2 に関するご説明は、カメラ付き LED 照明器具 ViewLED に同梱している器具取説をご確認ください。

3～6 に関するご説明は、第 2 章以降でご説明します。

1.5 ViewLED Solution 利用時の事前準備

ViewLED Solution の利用開始時に必要な機器は以下になります。事前にご準備ください。

表 1 ViewLED Solution 利用時に必要な機器一覧

必要な機器		分類	機器の説明	チェック 欄
カメラ付き LED 照明器具		ご購入 いただくもの	ViewLED Solution が利用可能な照明器具	
専用 ゲートウェイ	ゲートウェイ		器具とインターネットを接続する機器	
	AC アダプタ (付属品)		ゲートウェイに電源を供給するための AC アダ プタ	
	AC アダプタ用 ケーブル(付属品)		AC アダプタに接続する電源ケーブル	
	ゴム足		ゲートウェイの底面に取付ける滑り止め部材	
ネットワーク HUB		ご準備 いただくもの	有線 LAN ケーブルを中継する機器	
ルーター			インターネットプロバイダに接続する機器	
有線 LAN ケーブル			各機器を接続する有線 LAN ケーブル (CAT5e 規格以上、長さ 50m 以内を推奨)	
インターネット			光回線など常時接続型のインターネット回線	
無線アクセスポイント			無線タイプの ViewLED と通信する機器	
PC			設定時やクラウド接続確認に使用するパソコン	

ViewLED Solution の専用ゲートウェイ設定時に必要な情報は以下です。事前にご準備ください。

表2 専用ゲートウェイ設定時／クラウド接続確認時に必要な情報一覧

必要な情報	備考	記入欄
ユーザー名	専用ゲートウェイの 管理ユーザー作成時に必要な情報 (文字数、文字種類には制限があります。詳細は 4.1 項をご参照ください)	
パスワード		
ホスト名	専用ゲートウェイの 基本設定に必要な情報	
ドメイン名		
デフォルトゲートウェイ		
DNS サーバー 1		
DNS サーバー 2		
IP アドレス	専用ゲートウェイの IP アドレスの設定に必要な情報	
サブネットマスク		
プロキシプロトコル	専用ゲートウェイの プロキシサーバーの設定に必要な情報	
プロキシサーバー		
プロキシ用ポート		
プロキシ用ユーザーID		
プロキシ用パスワード		
非プロキシ経由アクセスホスト		
エンドポイント	専用ゲートウェイの Ciao Camera 設定に必要な情報 (別途ご提供する情報)	
アプリコード		
Ciao Camera 用パスワード		
NTP サーバー	専用ゲートウェイの NTP サーバーの設定に必要な情報	
クラウド接続用ユーザーID	クラウドへの接続確認時に必要な情報 (別途ご提供する情報)	
クラウド接続用パスワード		

2. PC の準備

2.1 PC 設定時のご注意

PC 選定する際には、下記の点にご注意ください。

- PC は、イーサネット接続が可能な有線 LAN ポートのある PC をご準備ください
- アンチウイルスソフトウェアや Windows のセキュリティパッチが適切に適用されているものを用意してください
- 各種設定を行う際、Web ブラウザを使用します。事前に Google 社製「Google Chrome（クローム）」や Microsoft 社製「Microsoft Edge」を PC にインストールしてください

2.2 PC の設定方法

PC のネットワーク設定を行い、ゲートウェイにアクセス可能状態にします。下記の手順で実施してください。（以下は Windows10 の場合です。Windows のバージョンによっては表示デザインが異なります。）

- （１） Windows の「設定」から「ネットワークとインターネット」を開いてください。



図2 ネットワークとインターネット

- (2) 「状態」タブ中の「アダプタのオプションを変更する」をクリックしてください。



図3 ネットワークの状態

- (3) カーソルを「イーサネット」に移動させ、右クリックし、「プロパティ」を選択してください。



図4 アダプタの プロパティ

- (4) 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IP)」を選択し、プロパティを開いてください。

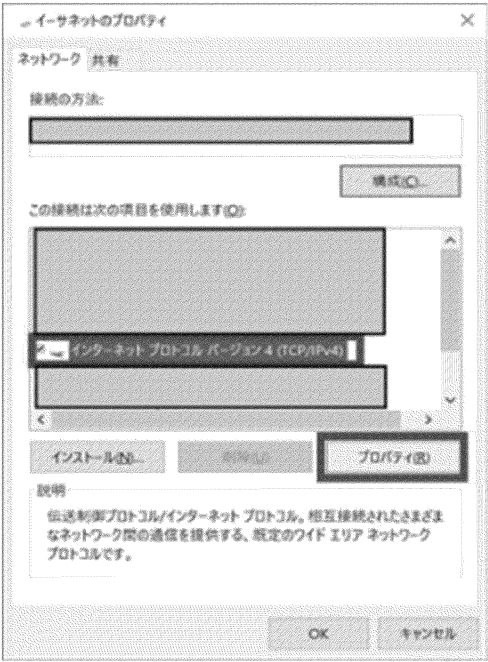


図5 イーサネットのプロパティ

- (5) 「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレス、サブネットマスクを以下の値に設定してください。

IP アドレス・・・・・・・・ 192.168.253.* （*は 2～253 の範囲で任意の数字）
サブネットマスク・・・・ 255.255.255.0

表3：各入力情報画面

入力情報	内容
IPアドレス※	PCのIPアドレス（IPv4）となります。 例）192.168.253.111 入力内容が不明な場合はお客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。
サブネットマスク※	ネットワーク体系を決める情報となります。 例）255.255.255.0

※：IPアドレスの第4オクテッド（表3の例では、111に相当）は「0」、「1」、「254」、「255」以外にしてください。また、同一ネットワークでは同じIPアドレスは割り当てられません。同一のIPアドレスを設定しないでください。



図6 TCP/IPv4のプロパティ

- (6) IPアドレスの設定が完了しましたら、「OK」ボタンを押し、「イーサネットのプロパティ」画面で「閉じる」を押してください。
上記でPCのIPアドレスの設定は終了になります。

2.3 PCのプロキシ設定方法

プロキシサーバーを利用したネットワークをご利用の方は、専用ゲートウェイの設定を行う際、プロキシ設定を一時的にオフにしてください。下記の手順で実施してください。

- (1) Windowsの「設定」から「ネットワークとインターネット」を開いてください。



図7 ネットワークとインターネット

- (2) 「プロキシ」タブ中のスライドボタンを押し、オフにしてください。（プロキシ設定をオンに戻す場合はスライドボタンを押ししてオンにした後、矢印の保存ボタンを押してください）

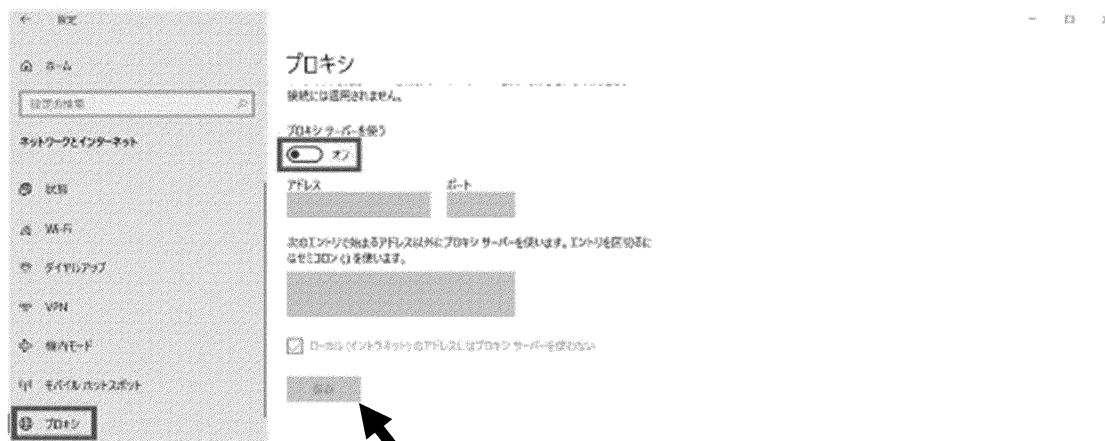


図8 プロキシ設定

3. 専用ゲートウェイの仮配置

3.1 専用ゲートウェイの各部名称

本項目では、専用ゲートウェイ（ゲートウェイ、AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブル）の各製品の説明をします。ゲートウェイの全体の外観、前面は下図のようになっております。

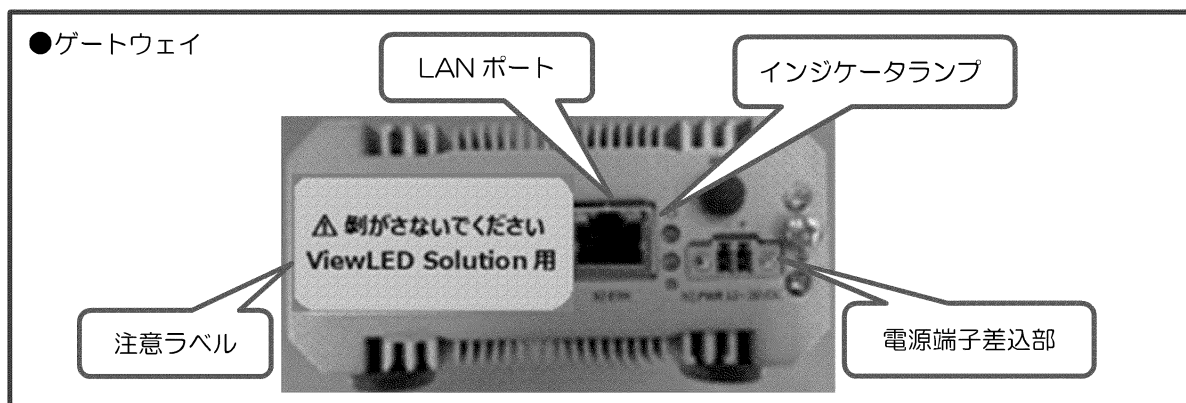


図9 ゲートウェイの外観図

AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルの各製品の的外観は下図のようになっております。

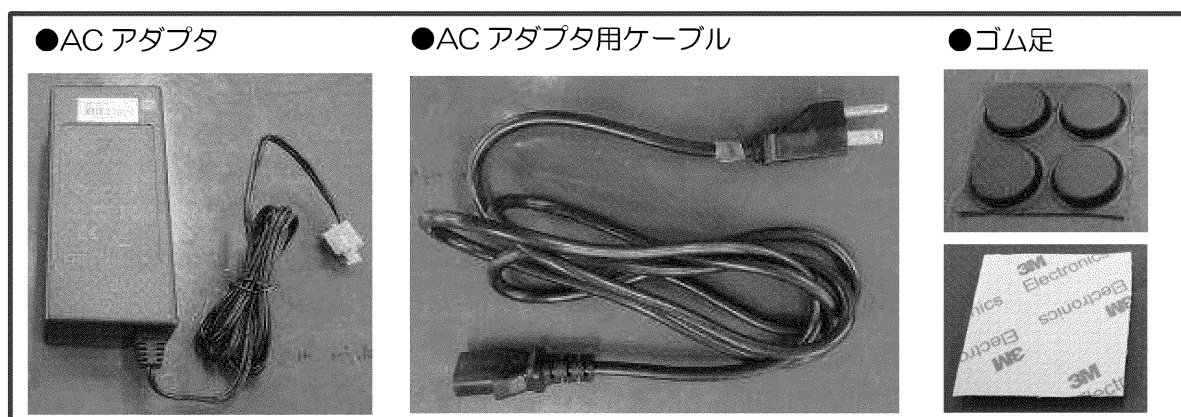


図10 AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルの外観図

3.2 専用ゲートウェイの各配線の接続

専用ゲートウェイの初期設定を行うため、一時的にゲートウェイを机上に配置してください。
次にゲートウェイと AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルおよび LAN ケーブルを接続します。接続手順は以下になります。

- (1) ゴム足の両面テープのはく離紙をはがし、ゲートウェイ底面に貼り付けてください。（ただし、水平設置以外をご検討の方は、本作業を行う必要ありません。）
- (2) AC アダプタのコード先端にあるコネクタ部（緑色）をゲートウェイの電源端子差込部に差し込んでください。

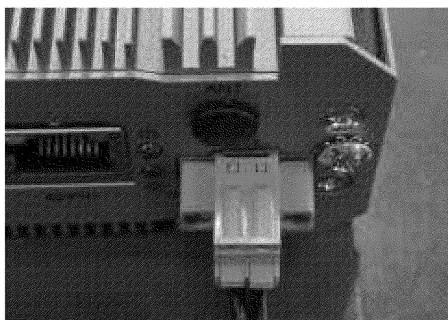


図 1 1 ゲートウェイへの AC アダプタ電源端子の接続

- (3) コネクタ部（緑色）の左右の固定用ねじをマイナスドライバーで締めてください。

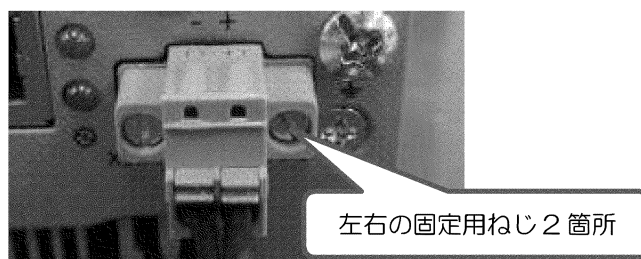


図 1 2 コネクタ部（緑色）のねじ固定部の拡大図

- (4) AC アダプタに AC アダプタ用ケーブルを差し込んでください。



図 1 3 AC アダプタへの AC アダプタ用ケーブルの接続

- (5) ACアダプタ用ケーブルの3Pプラグを単相100V用コンセント（接地極付）に差し込んでください。

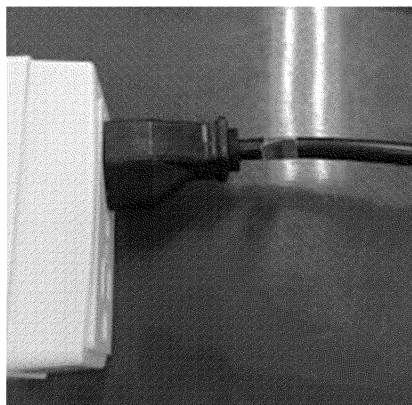


図14 ACアダプタ用ケーブルの3Pプラグの差し込み図

- (6) ゲートウェイのLANポートにLANケーブルを接続する。LANケーブルの反対側はPCに接続し、ゲートウェイのインジケータランプが点灯する事を確認してください。
- (7) 専用ゲートウェイが複数台ある場合、1台ずつ順番に4項「専用ゲートウェイの設定」の操作を専用ゲートウェイの台数分で実施してください。



警告

- ACアダプタのコネクタ部の左右の固定用ねじは確実に締めてください。ねじ締めされていない場合、動作不良や故障の原因となります。
- コネクタ部（緑色）の留め具（オレンジ色）から電源線が2本とも外れた場合、電極の＋と－を逆に挿した場合はショートしますので、良く確認し、再度差し込んでください。
- 電極の＋と－の判別は電線に白い模様がある方が＋、模様がない方が－となります。

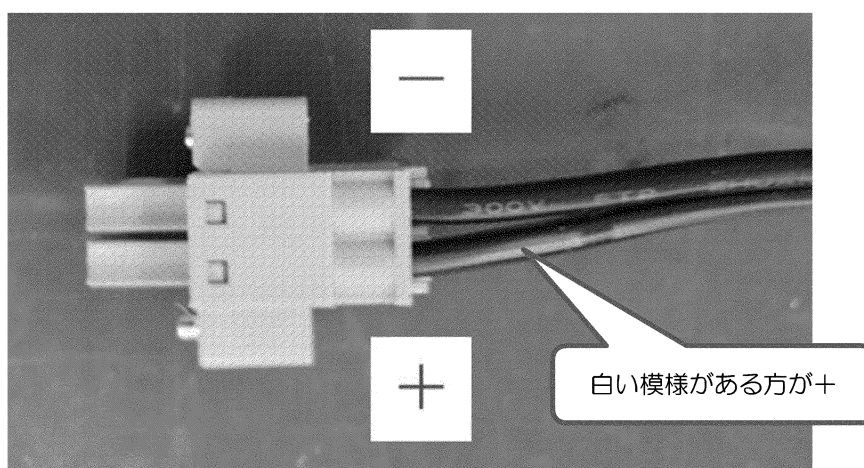


図15 コネクタ部（緑色）に差し込まれる電源線の電極の見分け方

4. 専用ゲートウェイの設定

4.1 専用ゲートウェイの管理画面を開く手順

ゲートウェイへの配線接続完了後、専用ゲートウェイの設定を行います。以下の手順で Web ブラウザから専用の管理画面にアクセスし、管理画面で設定をしてください。

- (1) PC 上で Web ブラウザを開き、ゲートウェイの設定画面を表示してください。ブラウザのアドレスバーに「http://192.168.253.254」と入力し、「Enter」キーを押して管理画面を開いてください。



図 16 アドレスバー入力画面

- (2) 使用許諾契約書をご確認の上、問題がなければ同意するボタンを押してください。



図 17 Ciao Camera Edge の使用許諾契約書の確認画面

- (3) 初期設定画面でユーザー名、パスワード、パスワード(確認)を入力し、保存ボタンを押してください。また、登録したユーザー名とパスワードは 1.5 項の表 2 にメモを取るようにしてください。
(管理ユーザーは 1 名のみ作成可能です。また、パスワードはログイン後に変更する事が可能です)



図 18 Ciao Camera Edge の管理ユーザー作成画面

- (4) 管理ユーザー作成後、下記画面でユーザー名とパスワードを入力し、ログインしてください。ただし、一定時間操作がなかった場合やログアウトした場合には再度ログインが必要となります。



図 19 Ciao Camera Edge のログイン画面



注意

- 管理ユーザーのユーザー名の文字数は4文字以上としてください。使用可能な文字種類は英字の小文字(a~z)、英字の大文字(A~Z)、数字(0~9)となります。
- 管理ユーザーのパスワードは6文字以上としてください。使用可能な文字種類に制限はありません。

4.2 専用ゲートウェイの初期設定

専用ゲートウェイの初期設定の方法について、設定手順を以下でご説明します。

- (1) ゲートウェイのIPアドレスの設定を行うためネットワークタブを選択し、ネットワーク画面を開いてください。設置環境に応じて基本設定、IPアドレスの各項目に必要な事項を入力してください。また、プロキシサーバーは必要に応じて入力してください。各項目の入力完了後、2箇所の保存ボタンを押してください。(IPアドレス設定では静的またはDHCPのいずれか必要な方を選択してください。また、入力内容が不明な場合はお客様のネットワーク管理者にお問い合わせください)

ダッシュボード ネットワーク Ciao Camera設定 時刻設定 パスワード変更 動作状態 メンテナンス

ネットワーク

基本設定

ホスト名: debian

ドメイン名:

デフォルトゲートウェイ:

DNSサーバー1:

DNSサーバー2:

IPアドレス

IPアドレス設定: ☐ 静的 ☒ DHCP

IPアドレス: 192 168 253 254

サブネットマスク:

保存

プロキシサーバー

使用有無: ☐ 使用する ☒ 使用しない

プロキシプロトコル: HTTP

プロキシサーバー:

プロキシポート:

プロキシ用ユーザーID:

プロキシ用パスワード:

※プロキシ経由アクセスホスト:

保存

図20 ネットワークタブの画面

- (2) 基本設定、IP アドレス、プロキシサーバーを設定して保存すると、設定反映のため ゲートウェイのソフトウェアが再起動します。

- (3) ゲートウェイのソフトウェアが再起動した後、ブラウザ画面の接続が中断されます。(図20参照)。ゲートウェイに再度接続するため、改めてPCの設定変更を行ってください。



接続が中断されました

ネットワークの変更が検出されました。

ERR_NETWORK_CHANGED

図21 Ciao Camera タブの画面

- (4) PCの設定変更の方法は、2.2項「PCの設定変更」と同様の手順です。TCP/IPv4のプロパティの画面において、「次のIPアドレスを使う」を選択し、4.2項(1)で設定したゲートウェイと同じネットワーク帯の新しいIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力してください。

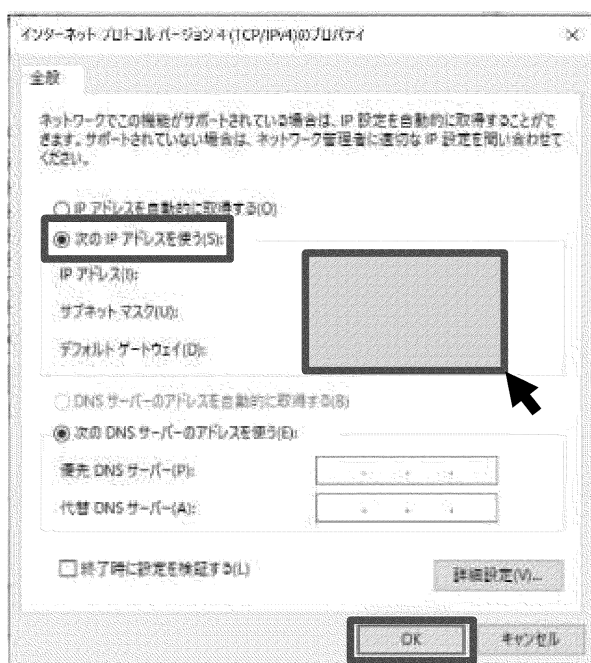


図22 TCP/IPv4のプロパティ (IPアドレス変更後)

- (5) PCの設定変更を実施後、Webブラウザのアドレスバーに4.2項(1)で設定したゲートウェイの新しいIPアドレスを入力し、「Enter」キーを押してください。ログイン画面でユーザーID、パスワードを入力し、管理画面を開いてください。

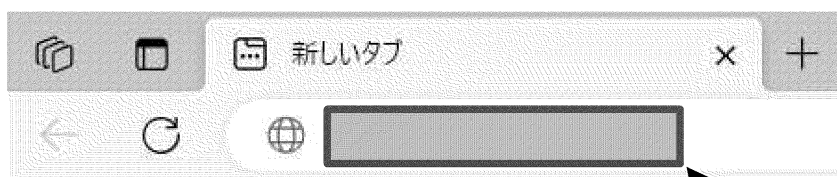


図23 アドレスバー入力画面 (IPアドレス変更)



図24 ログイン直後の管理画面

- (6) Ciao Camera 設定タブを選択し、Ciao Camera 設定画面を開いてください。別途ご提供するエンドポイント、アプリコード、パスワードを入力してください。（保存を行うと、設定反映のため ゲートウェイソフトウェアの再起動が発生します）



図25 Ciao Camera タブの画面

(7) 時刻設定タブを選択し、時刻設定画面を開き、以下の手順で時刻情報の設定を行ってください。

- PC 時刻を同期させる場合
 - 「PC と時刻を同期」で同期ボタンを押し、現在ゲートウェイに接続している PC の時刻をゲートウェイに設定してください。
- NTP サーバーを利用する場合
 - a 「タイムゾーン」を設置環境に応じて設定してください。
 - b 「時刻同期設定」では同期設定を選択することができます。NTP サーバーをご利用の場合は「NTP」を選択してください。
 - c NTP サーバーに必要な事項を入力してください。特に指定がない場合デフォルトで入力されている時刻サーバー「ntp.nict.jp」をご利用ください。
(「ntp.nict.jp」は国立研究開発法人情報通信研究機構による日本標準時接続の NTP サーバーです)



図26 時刻設定タブの画面



注意

- PC と時刻を同期させる場合、PC で表示されている時刻が GW に設定されるので、PC 側が正しい時刻である事をご確認ください。
- ネットワークタブ、Ciao Camera 設定タブ、時刻設定タブの設定完了後に正常に動作しない事があった場合、AC アダプタ用ケーブルをコンセントから抜いた後、再度差し込み、ゲートウェイを再起動させてください。

4.3 専用ゲートウェイの管理画面の詳細説明

専用ゲートウェイの管理画面について、その他の画面をご説明します。

(1) ダッシュボード画面

リソース情報、各種設定情報の確認が可能です。各項目について以下でご説明します。

- 「ハードウェアリソース」では、ゲートウェイのメモリ、ストレージ情報が確認可能です。
- 「ネットワーク」では、FQDN、ゲートウェイ、IP アドレスが確認可能です。また、これら項目は、ネットワーク画面で設定を行う事ができます。
- 「セットアップ状況」では、ネットワーク状況、CiaoCamera 設定、CiaoCamera バージョンを確認する事が可能です。
 - ネットワーク状況が NG となっている場合、CiaoCamera 設定が NG となっている場合には「4.4. 専用ゲートウェイの管理画面の困ったとき」の項をご確認ください。
 - CiaoCamera バージョンにはゲートウェイで動作しているソフトウェアのバージョンが表示されます。ソフトウェアのアップデートが可能な場合には、アップデートボタンが表示されます。自動アップデートの仕組みが備わっているので定期的に自動でアップデートが実行されますが、アップデートボタンを押して手動でアップデートを実施させることも可能です。



図27 ダッシュボードタブの画面



注意

- 自動アップデート機能によりアップデートが実行されている際、映像取得ができない事がありますのでご注意ください。

(2) パスワード変更

管理ユーザー作成で設定したパスワードの変更が可能です。

The screenshot shows the 'パスワード変更' (Change Password) tab. It contains two input fields: 'パスワード' (Password) and 'パスワード (確認)' (Confirm Password), each with a toggle icon to the right. Below the fields is a '変更' (Change) button.

図28 パスワード変更タブの画面

(3) 動作状態

ゲートウェイの動作状態が確認可能です。更新ボタンを押すと、最新の状態を表示します。

異常がある場合には「Supervisor」の下に赤字でエラーメッセージが表示されます。対応方法を 4.4 項「専用ゲートウェイの管理画面の困ったとき」に記載していますので、ご確認ください。

The screenshot shows the '動作状態' (Operation Status) tab. It features an '更新' (Update) button. Below it, there are two sections: 'Rabbit MQ' and 'Supervisor'.

Rabbit MQ

キュー名	メッセージ数
scpsCommandQueue	0
scpsMotionQueue	0
scpsDiffQueue	0
scpsConvertQueue	0
scpsUploadQueue	0
scpsLiveQueue	0
scpsControlQueue	0
scpsLiveQueue1	0

Supervisor

プロセス名	ステータス	稼働時間
scps_command	RUNNING	0:00:25
scps_control	RUNNING	0:00:25
scps_convert_1	RUNNING	0:00:25
scps_diff_detect	RUNNING	0:00:24
scps_heatmap	RUNNING	0:00:24
scps_live_publish_0	RUNNING	0:00:26
scps_live_publish_1	RUNNING	0:00:26
scps_main	RUNNING	0:00:33
scps_motion_detect	RUNNING	0:00:19
scps_request_handle	RUNNING	0:00:26
scps_server_info	RUNNING	0:00:22
scps_upload	RUNNING	0:00:26
scps_watch	RUNNING	0:00:28

図29 動作状態タブの画面

(4) メンテナンス

アプリの再起動、機器（ゲートウェイ）の再起動、機器（ゲートウェイ）の設定初期化が可能です。また、機器の設定初期化を実施すると、初期設定前の状態に戻ります。

（メンテナンス時以外の通常使用時には使用しないでください。また、画面中の機器とは、ゲートウェイの事です）



図30 動作状態タブの画面

4.4 専用ゲートウェイの管理画面で困ったとき

専用ゲートウェイの管理画面において、困ったときの対応例を以下でご説明します。

(1) ネットワーク状況に NG と表示される場合の例

ダッシュボード画面のセットアップ状況のネットワーク状況に NG と表示される場合、以下をご確認ください。

- ネットワーク画面で設定が正しいか確認してください
- ゲートウェイがインターネットに接続しているか確認してください



図31 ネットワーク状況が NG の例

(2) CiaoCamera 設定に NG と表示される場合の例

ダッシュボード画面のセットアップ状況の CiaoCamera 設定に NG と表示される場合、以下をご確認ください。

- CiaoCamera 設定画面で設定が正しいか確認してください
- 別途ご提供するエンドポイント、アプリコード、パスワードを全て設定してください



図 3 2 CiaoCamera 設定が NG の例

(3) CiaoCamera バージョンが表示されない場合の例

ダッシュボード画面のセットアップ状況の CiaoCamera バージョンに「最新バージョンを取得できません。Ciao Camera 設定を確認してください」と表示される場合、以下をご確認ください。

- 上記、「ネットワーク状況に NG と表示される」、「CiaoCamera 設定に NG と表示される」を参考にネットワーク設定、CiaoCamera 設定が正しいか確認してください

(4) Supervisor プロセスの異常時の例

動作状況画面の Supervisor のステータスが RUNNING 以外で赤色表示されている場合、下記いずれかを試してください。

- メンテナンス画面のアプリ再起動を行い、ゲートウェイのソフトウェアの再起動を実施する事で解決する場合があります
- ダッシュボード画面のセットアップ状況を確認し NG と表示されている場合には、上記「ネットワーク状況に NG と表示される」、「CiaoCamera 設定に NG と表示される」を参考にネットワークタブ、CiaoCamera 設定タブの設定内容が正しいか確認してください

ダッシュボード
ネットワーク
Ciao Camera設定
機器設定
パスワード変更
動作状況
メンテナンス

動作状況

更新

Rabbit MQ

キュー名	メッセージ数
scpsCommandQueue	0
scpsMotionQueue	0
scpsDiffQueue	0
scpsConvertQueue	0
scpsUploadQueue	0
scpsLiveQueue	0
scpsControlQueue	0
scpsLiveQueue1	0

Supervisor

Supervisorプロセスが正常に動作していません。

「メンテナンス」画面から「アプリの再起動」を実行していただく事で解決する可能性があります。

メンテナンス画面へ

プロセス名	ステータス	稼働時刻
scps_command	RUNNING	15:06:57
scps_control	RUNNING	15:06:57
scps_convert_1	RUNNING	15:06:57
scps_diff_detect	RUNNING	15:06:56
scps_heatmap	RUNNING	15:06:56
scps_live_publish_0	RUNNING	15:06:56
scps_live_publish_1	RUNNING	15:06:56
scps_main	FATAL	
scps_motion_detect	RUNNING	15:06:51
scps_request_handle	RUNNING	0:12:58
scps_server_info	RUNNING	15:06:54
scps_upload	RUNNING	15:06:56
scps_watch	RUNNING	15:06:56

図 3.3 Supervisor プロセス異常時の例

4.5 専用ゲートウェイの疎通確認

専用ゲートウェイの初期設定完了後、専用ゲートウェイに対してネットワークの疎通確認を行います。

- (1) 疎通確認を行うためにコマンドプロンプトを起動してください。
- (2) PCの「Windows マークキー」と「R キー」を押し、「ファイル名を指定して実行」ダイアログを開きます。画面を開いた後、「名前」入力ボックスに「cmd」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

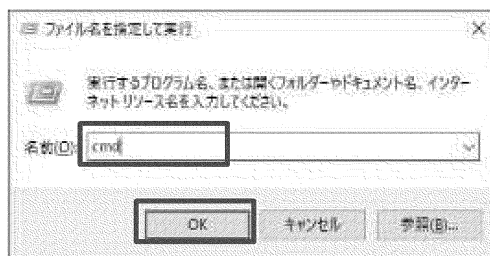


図34 ファイル名を指定して実行画面

- (3) コマンドプロンプトが起動したら「ping」、半角スペース、専用ゲートウェイのIPアドレスを入力し、「Enter キー」を押してください。以下は専用ゲートウェイのIPアドレスが172.16.0.30の場合の例になります。（ゲートウェイが複数ある場合は各々の異なるIPアドレスを入力する必要があります）

```
ping 172.16.0.30
```

図35 ping 入力画面

- (4) ping 統計のパケットが「損失 = 0（0% の損失）」であることを確認してください。

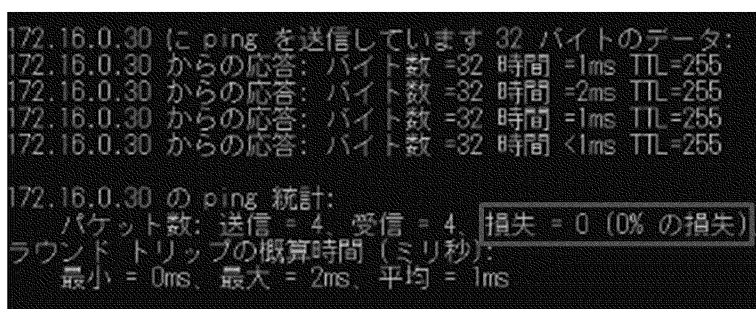


図36 ping 確認画面

- (5) 上記画面の確認が完了できたら終了になります。専用ゲートウェイが複数台ある場合は、この操作を専用ゲートウェイの台数分実施してください。
- (6) 専用ゲートウェイの疎通確認がすべて完了できたら、右上の「x」ボタンをクリックするか、コマンドプロンプトで「exit」と入力し「Enter」キーを押してコマンドプロンプトの画面を閉じてください。

5. 専用ゲートウェイの本設置・関連機器の接続

5.1 専用ゲートウェイの本設置

専用ゲートウェイの各設定が完了し、PC とゲートウェイの疎通確認が取れた後、仮配置していた場所から本設置予定の場所にゲートウェイを移動させてください。本設置をする場所は水平な場所に置く事を推奨します。（底面や背面にねじ固定穴がありますので、必要に応じてご活用ください）

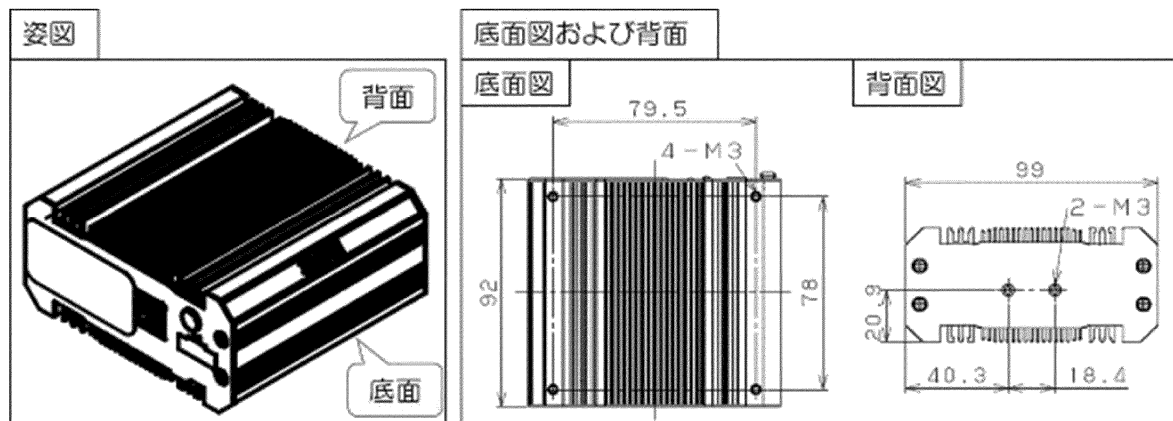


図3-7 ゲートウェイの姿図、底面図および背面図（ねじ穴寸法）



注意

- ゲートウェイは上下の向きがあります。底面を下向きとなるようにしてご使用ください
- 前後左右および上部を各 10cm 以上あげてご使用ください
- ゲートウェイと AC アダプタは離して設置してください
- ゲートウェイに接続した AC アダプタの電源端子に応力を加えないようにご注意ください
- 注意ラベルは剥がさないでください

専用ゲートウェイは、以下の条件でご使用ください。

- 周囲温度 5℃～35℃以内で使用してください。密閉する空間などには設置しないでください。
- 付属品の AC アダプタ、AC アダプタ用ケーブルをご使用ください。
- 高湿度環境下（85%以上）は使用できません。
- 一般屋内専用です。雨や風が当たる箇所、振動や衝撃のある箇所、粉塵、腐食性ガス、オイルミストなど発生する箇所は使用できません。
- 虫が飛来する箇所はご使用しないでください。

5.2 専用ゲートウェイと関連機器の接続

事前ご準備頂いたネットワーク機器を用いて、1.2 項の図 1「ViewLED Solution の製品構成図」と同様の構成となるように関連機器を順番に接続していきます。以下の手順で接続を進めてください。

- (1) カメラ付き LED 照明器具と有線 LAN ケーブルまたは無線アクセスポイントと経由で接続されているネットワーク HUB に対し、ゲートウェイを LAN ケーブルで接続してください。
- (2) 有線接続する場合は PC と (1) と同じネットワーク構成内のネットワーク HUB を施工用 LAN ケーブルで接続してください。無線接続する場合は PC と無線アクセスポイントを無線 LAN で接続してください。
- (3) プロキシ設定をオフにした方は、設定をオンに戻してください (2.3 項参照)



注意

- 本製品の電源が途絶えた場合、その前後の映像データは欠落する恐れがあります
- 電源線と LAN ケーブルを隣接させないでください。ノイズの原因となります
- LAN ケーブルは CAT5e 規格以上をご利用ください。また、配線の長さは 50m 以内を推奨します

5.3 専用ゲートウェイのインジケータの点灯パターン

ゲートウェイをネットワーク機器に接続した際、各々のインジケータが点灯または点滅します。点灯パターンを下記の図、正常点灯時の点灯パターンを表 4 に示しておりますので、ご参照ください。

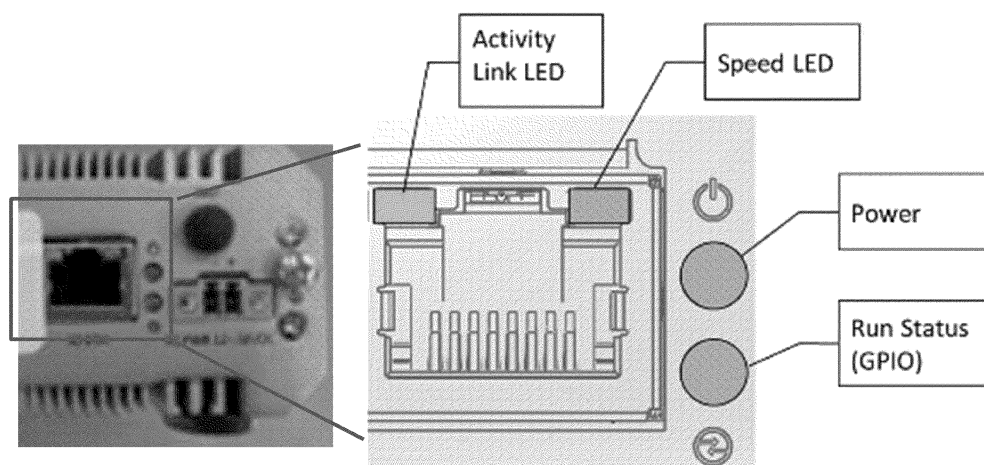


図 38 インジケータの説明図

表4：インジケータの点灯パターン

分類	名称	ランプ位置	定常状態 (電源 ON、LAN 接続時)	備考
ゲートウェイ 本体用	Power	上	緑点灯	・電源オフ時は消灯
	Run Status (GPIO)	下	消灯	・電源オフ時も消灯 ・電源オンの際に約 1 秒間緑点灯 その後、電源オン時も常時消灯
イーサネット用	ActivityLink LED	左	(i) オレンジ点灯 または (ii) 緑点灯	・LAN ケーブルを抜くと消灯
	Speed LED	右	約 0.5sec 周期緑点滅	・LAN ケーブルを抜くと消灯

6. クラウドへの接続確認

カメラ付き LED 照明器具の映像情報が正常にクラウドに届いている事を確認します。

- (1) インターネット接続可能な PC を準備し、Web ブラウザを開いてください。（推奨ブラウザは Google Chrome です。以下は Google Chrome 使用時の手順を記載します）
- (2) アドレスバーに「<https://viewled-solution.ciaoinc.jp/>」を入力して「Enter」を押してください。
- (3) クラウドへのログイン画面が表示されるので、別途ご提供する email にユーザーID、password にパスワードを入力してください。



図39 クラウドへのログイン画面

- (4) カメラ付き LED 照明器具の映像確認を行う事が出来ます。カメラリストが表示されますので、確認したいカメラの名称をクリックしてください。(カメラ付き LED 照明器具に接続後、映像表示に時間がかかる場合がございます)

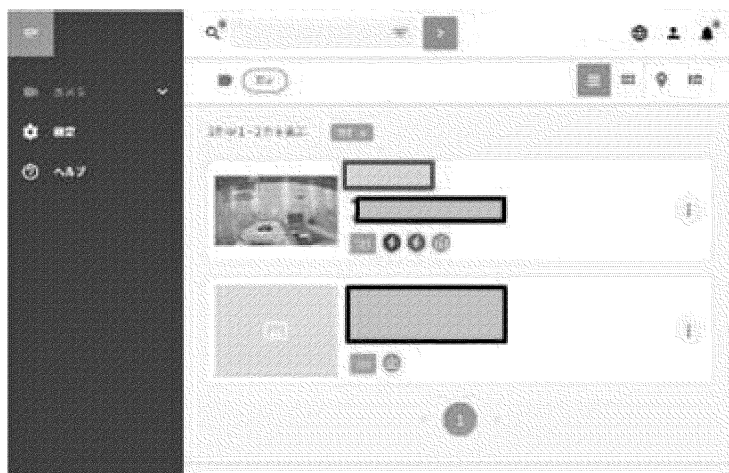


図 4 0 カメラの選択画面

- (5) カメラ付き LED 照明器具からの映像が表示されることを確認してください。(「LIVE」ボタンが有効になっている場合、リアルタイムの映像を確認する事が可能です)



図 4 1 映像閲覧画面

- (6) 「映像を読み込んでいます」と表示された場合、時間をおいてから再度カメラ名称をクリックしてください。

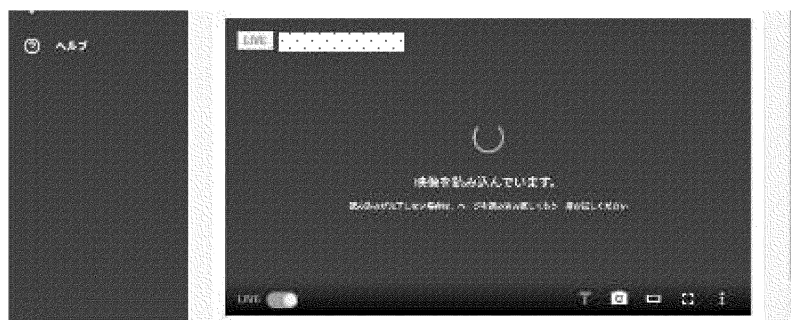


図 4 2 映像読み込み画面

- (7) 残りのカメラ付き LED 照明器具に対しても同様の確認を実施してください。問題なければ、クラウドによる確認作業は完了となります。

7. サポート・お問い合わせ

- 当社は、本サービスの実施期間中、利用者が設定した運用窓口からの本サービスに関する仕様または操作方法に関する質問、本サービスが正常に動作しない場合における原因調査、回避措置に関する質問または相談は下記窓口にて受け付けています。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック商品ご相談センター

■お電話でのお問い合わせ

固定電話から

0120-66-1048（通話料:無料）

携帯電話から

046-862-2772（通話料:有料）

FAX

0570-000-661（通信料:有料）

■Eメールでのお問い合わせ

TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

■東芝ライテックホームページ

<https://www.tlt.co.jp>

■個人情報の取り扱いについて

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

8. 商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- その他の商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

東芝ライテック株式会社

次世代ソリューション事業本部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

お問合せ先E-mail: TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

無断複製および転載を禁ず

日本国内専用

Use only in Japan

© 2023 Toshiba Lighting & Technology Corporation